



 **アズワン株式会社**

東証プライム（7476）

2025年11月17日

2026年3月期 中間期決算説明会

-
- 1. 26年3月期 上期実績**
 - 2. 26年3月期 通期修正計画**
 - 3. 上期総括および今後の見通し**

ハイライト

上期実績

売上高計画未達も売上高・利益とも過去最高を更新。営業・経常・純利益とも計画を上回る2桁増益。

- メディカル部門は医療機関の赤字経営拡大に伴い減収継続の一方、堅調な研究開発投資を背景にラボ・インダストリー部門でカバーし過去最高を更新。
- 品揃えが1,240万点から1,310万点に拡大、見える在庫が1,650億円から1,720億円に増加。ロングテール品の売上増が奏功。
- ロングテール品の利益率改善、前期比円高シフト分輸入品の採算改善、販管費における物流費の改善努力により販管費率0.5 p 削減等で、大幅増益。

通期見通し

売上高はメディカルの停滞や関税影響を鑑み下方修正。各利益は販管費抑制等を見込み上方修正。

- 下期予算は政権与党枠組みの改選前のもの。売上高はメディカルの回復遅れや輸出産業の関税対応期間と見立て、確実な推定ラインに保守的に見直し。
- ocean、Waveのユーザー件数拡大や大口先獲得に励み、次年度以降に開花するネタを確実に積み上げ。また、工事案件や大型装置受注にも注力。
- 売上高及び各利益とも過去最高を見込む。

中期経営計画の進捗

利益面や資本効率性でのKPIは順調。

- 3カ年計画の最初の半年としては、まず収益面で好スタート。売上高は足元市場環境を鑑み次年度以降のトップラインのギア・アップへ種まき期と位置付け。
- 効率性高い九州DC稼働。サービス事業拡大を企図するレンタル&校正センター着工（27年1月稼働予定）
- 医療機関向け物流と連動した院内物品管理システム「Mare's物品管理」リリース。ラボ向けユーザー在庫管理サービス複数社稼働。
- ocean、Wave接続多数。ECシェア34.1%（1.5p増）、CPC施工件数積み上がり。

資本政策

年間配当金は15期連続となる増配を予定、ROEは13%台が狙える範囲へ。

- 自己株式消却4,400,000、自己株式取得枠10億円。収益率向上もあり資本効率性アップ。
- 中間配当31円、期末配当32円を予定し、年間では15期連続の増配となる計画。
- 現決議内容で、総還元性向63%超の見通し。

I. 26年3月期 上期実績

■ 売上高 **514.1億円** 前年同期比 **+5.7%** (+27.9億円)
計画比 **△3.0%** (△16.1億円)

16年連続増収・15年連続過去最高額を更新。
1,310万点超の品揃えとECで研究開発需要を取り込む。

■ 営業利益 **60.2億円** 前年同期比 **+14.2%** (+7.5億円)
計画比 **+8.4%** (+4.7億円)

販管費抑制により過去最高額を更新。

■ 当期純利益 **43.3億円** 前年同期比 **+13.2%** (+5.0億円)
計画比 **+9.0%** (+3.6億円)

過去最高額を更新。

ラボ・インダストリー部門ラボラトリー（LB）売上

実績

売上高

318.2億円

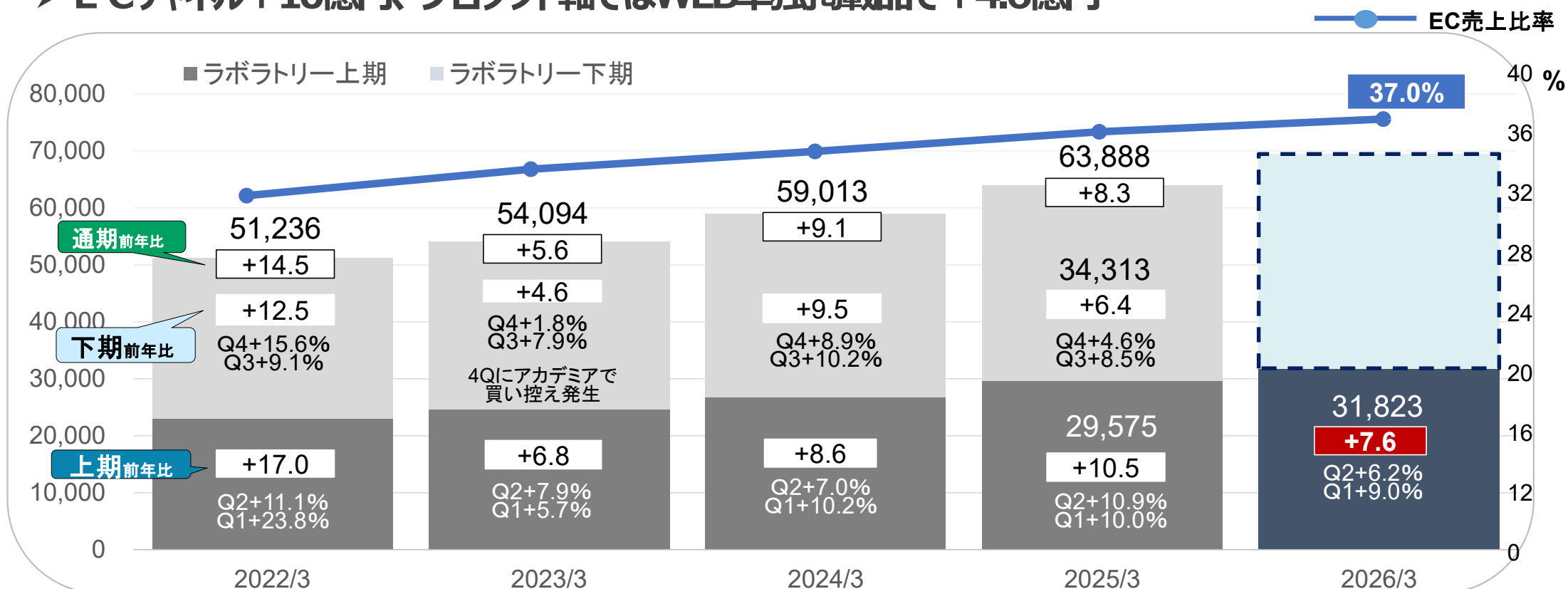
前年同期比

+7.6% (+22.5億円)

計画比

△2.0% (△6.4億円)

➤ E Cチャネル+10億円、プロダクト軸ではWEB単独掲載品で+4.6億円



ラボ・インダストリー部門インダストリー（ID）売上

実績

売上高

114.1億円

前年同期比

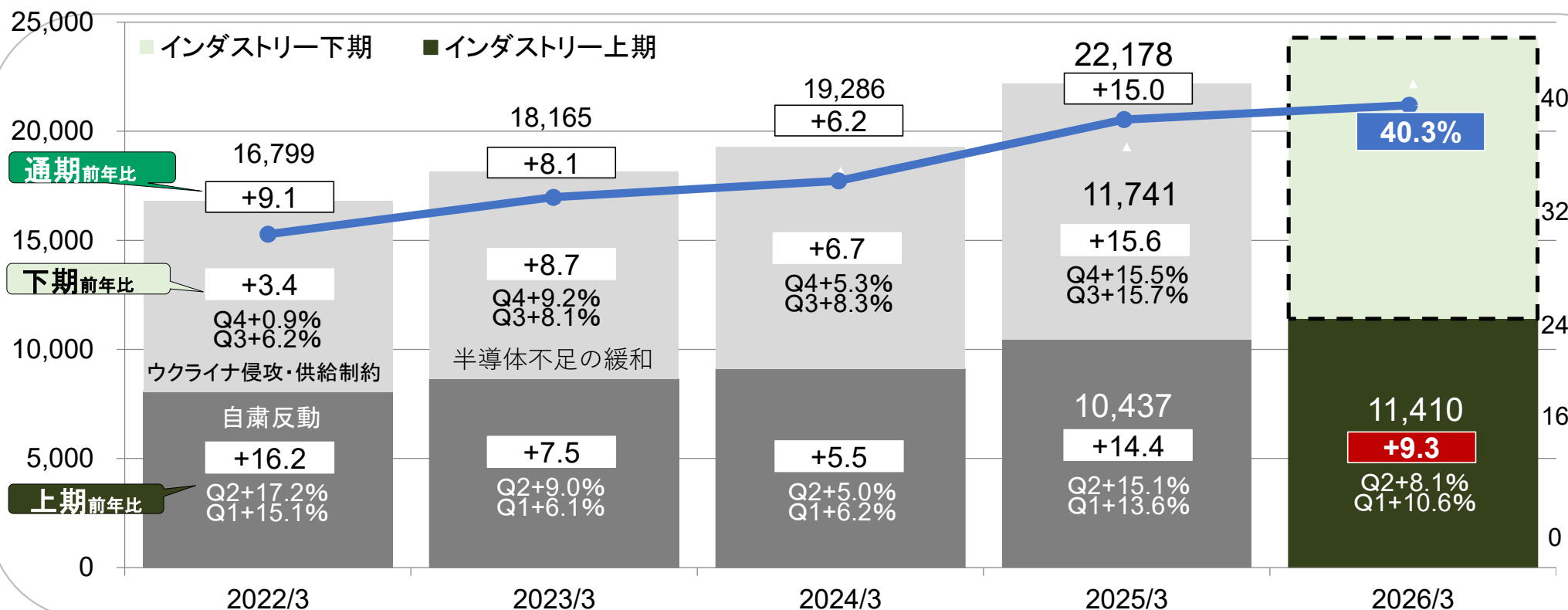
+9.3% (+9.7億円)

計画比

△0.2% (△0.2億円)

➤ ECチャネル+7.5億円。クリーンルーム用品や計測機器、衛生管理用品が伸張

EC売上比率



メディカル（MD）部門売上

実績

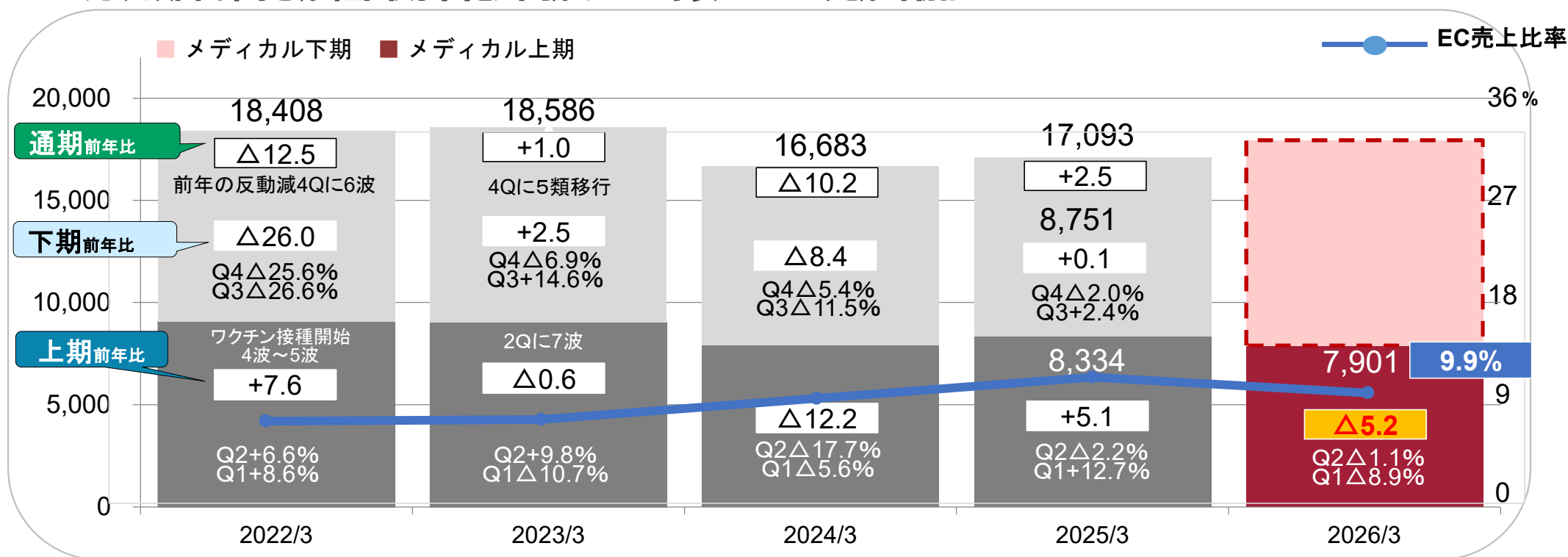
売上高

79.0億円

前年同期比 $\triangle 5.2\%$ ($\triangle 4.3$ 億円)

計画比 $\triangle 10.5\%$ ($\triangle 9.3$ 億円)

- 医療の2024年問題（医療従事者の労働改善等）等への取り組みの影響（経費節減・購買抑制行動）
- 一方、顧客の関心が経営効率化に向かいつつあり、Ocean先が増加



その他売上

実績

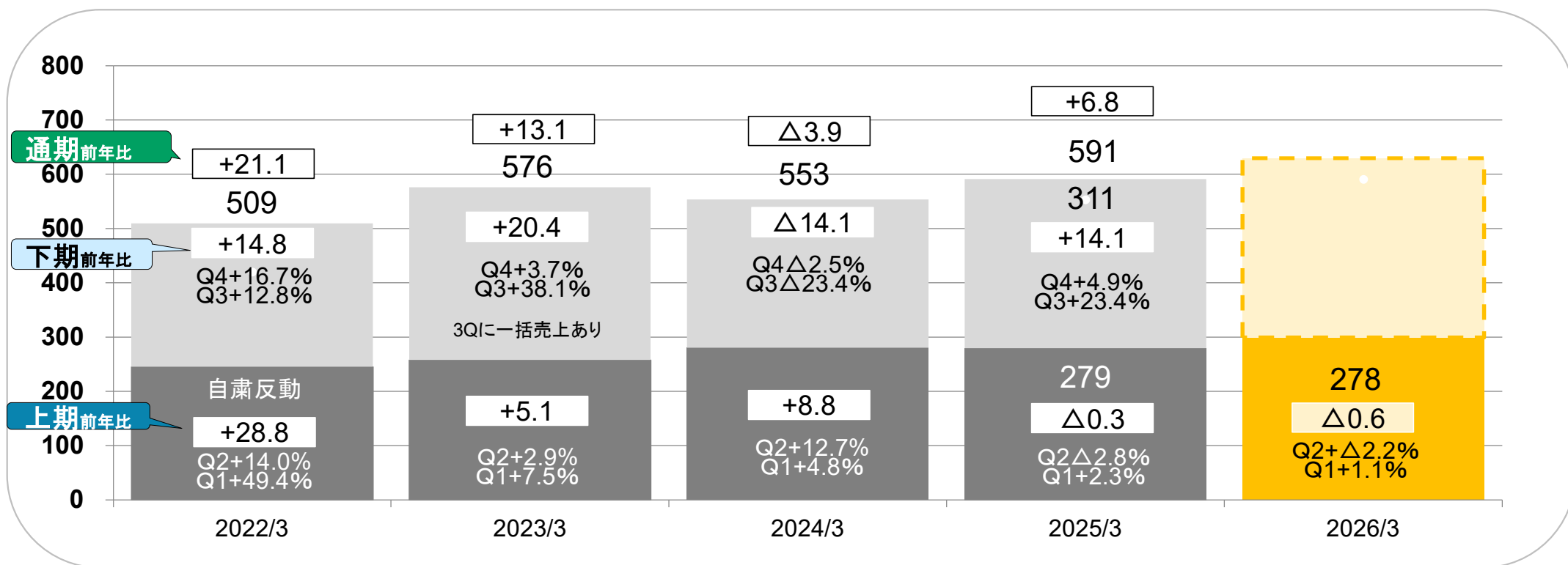
売上高

2.8億円

前年同期比 $\triangle 0.6\%$ ($\triangle 0.0$ 億円)

計画比 $\triangle 7.2\%$ ($\triangle 0.2$ 億円)

- 子会社トライアンフ21が試薬や研究用物品の購買マッチングをする購買代行システムを運用し手数料売上として計上
- 製薬会社の一部買い控え



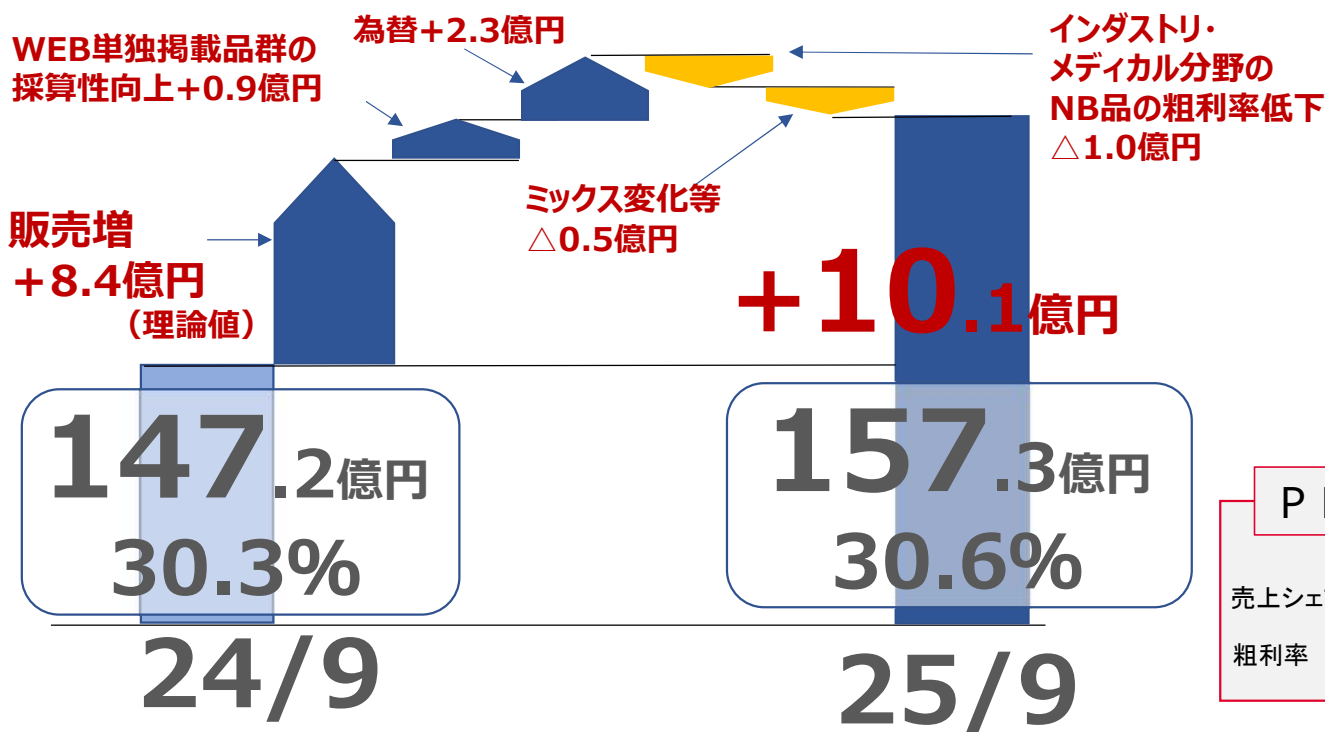
営業利益増減理由（粗利）

実績

■ 売上総利益 157.3億円

前年同期比 **+6.9% (+10.1億円)**
計画比 △1.3% (△2.0億円)

- 柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。
- 輸入品及びロングテール商品の採算率向上により粗利率回復。



四半期粗利率	23/3	24/3	25/3	26/3
1Q	31.4%	31.4%	30.1%	30.7%
2Q	31.5%	31.2%	30.5%	30.4%
3Q	31.3%	30.2%	30.4%	—
4Q	30.7%	29.8%	29.9%	—

(単体ベース)	
P B・輸入品実績	NBのうちWEB単独商品
(前年同期比)	(前年同期比)
売上シェア 33.4% (△0.2p)	売上シェア 20.1% (+0.5p)
粗利率 +1.1p (前年同期比)	粗利率 +0.9p (前年同期比)

営業利益増減理由（販管費）

実績

■ 販管費

97.1億円

前年同期比
計画比

+2.8%（+2.6億円）
△6.4%（△6.7億円）

➤ 売上伸長も販管費抑制で計画を下回る

		2024/9	2025/9	計画比		前年同期比		補足
				増減額	増減率	増減額	増減率	
販管費		9,449	9,711	△ 666	△6.4%	+262	+2.8%	
広告宣伝費		477	295	△ 67	△18.5%	△ 182	△38.2%	前年度研究用総合カタログと中国向けカタログ発刊 今年度医療向け総合カタログのみ発刊。関連費用抑制
うちカタログ費		241	57	△ 30	△34.3%	△ 183	△76.1%	
人件費		3,282	3,362	△ 166	△4.7%	+79	+2.4%	期中平均人数前年740→761人（+22人） 中途採用関連費用未消化
うち退職給付関連		57	56	△ 2	△4.4%	0	△1.4%	
運賃・倉庫作業料		2,543	2,544	△ 176	△6.5%	+0	+0.0%	売上成長するも作業効率化で費用抑制
研究開発費		5	8	△ 8	△51.3%	+2	+46.7%	PB品開発費用
不動産賃借料		732	958	△ 4	△0.5%	+226	30.8%	一次的な費用。下期には影響なし
減価償却費		418	444	+3	0.9%	+26	6.2%	IT・物流投資
ソフト償却費		247	249	+3	1.4%	+2	+1.0%	
その他		1,741	1,848	△ 250	△11.9%	+107	+6.2%	前年比：修繕費、コンピュータ料等増 計画比：行動関連費、コンピュータ料、消耗品、修繕費、 雑費等抑制

2026年3月期 上期損益計算書

実績

	2024/9		2025/9		計画比		前年同期比		(単位：百万円)
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率	補足
売上高	48,626	100.0%	51,412	100.0%	△ 1,607	△3.0%	+2,785	+5.7%	メディカル軟調もラボ・インダストリーでカバー
売上総利益	14,717	30.3%	15,728	30.6%	△ 199	+0.6P	+1,010	+0.3p	web単独商品の価格見直しや為替の影響等により利益率が改善
営業利益	5,268	10.8%	6,016	11.7%	+466	+8.4%	+748	+14.2%	販管費抑制で過去最高更新。
経常利益	5,579	11.5%	6,253	12.2%	+493	+8.6%	+674	+12.1%	過去最高更新。
特別損益	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	-	
中間純利益	3,822	7.9%	4,326	8.4%	+356	+9.0%	+503	+13.2%	過去最高更新
中間純利益/1株(円)	53.37		60.38		+4.97	+9.0%	+7.01	+13.1%	

Ⅱ. 26年3月期 通期修正計画

売上高 **1,089.0億円** 過去最高額を更新 前年同期比 **+5.0%**
+51.5億円

(期初計画 1,129.0億円)

営業利益 **125.1億円** 過去最高額を更新 前年同期比 **+7.9%**
+9.2億円

(期初計画 122.9億円)

当期純利益 **89.4億円** 過去最高額を更新 前年同期比 **+8.6%**
+7.1億円

(期初計画 87.5億円)

分野別進捗・通期見通し

見通し

単位：百万円

	上期実績	前年同期比	伸率(%)	下期計画	前年同期比	伸率(%)	通期	前年同期比	伸率(%)
ラボラトリー	31,823	+2,247	+7.6%	36,407	+2,094	+6.1%	68,230	+4,341	+6.8%
	地方創生予算等による産官学連携事業や半導体研究開発などのプロジェクト。品揃え・サービス・ECの優位性がオーガニックに成長を促進。								
インダストリー	11,410	+973	+9.3%	12,609	+869	+7.4%	24,020	+1,842	+8.3%
	クリーンルーム関連MROや食品関連堅調。EC拡大。								
メディカル	7,901	△433	△5.2%	8,176	△583	△6.7%	16,077	△1,016	△5.9%
	CPC（細胞培養加工施設）や新規開業獲得。補助金等獲得に向け増員。								
その他	277	△2	△0.6%	294	△17	△5.6%	572	△18	△3.2%
	通過取扱高150億円超。購買代行システム利用先拡大に注力。								
合計	51,412	+2,785	+5.7%	57,488	+2,363	+4.3%	108,900	+5,148	+5.0%

➤ ECは、アカウント拡大及び品揃え拡充による既存先深耕を図る。

単位：百万円

	24/9 実績	25/9 実績	前年 同期比	伸率 (%)	26/3 上計画	計画比	達成率 (%)	26/3 年計画	通期 伸率%	進捗率 %
ocean 売上額	7,395	7,870	+475	+6.4	8,540	△669	92.2	17,976	+15.2	43.8
接続数	379社	524社	+145社	—	—	—	—	—	—	—
LIID接続数	309社	377社	+68社	—	—	—	—	—	—	—
MD接続数	70社	147社	+77社	—	—	—	—	—	—	—
Wave 売上額	783	945	161	+20.6	1,012	△67	93.3	2,300	+29.3	41.1
稼働ユーザー数	4,727	5,889	+1,162	—	—	—	—	—	—	—
アカウント数	19,205 社	22,415 社	+3,210 社	—	—	—	—	—	—	—
AXEL Shop	1,126	1,299	+172	+15.3	1,304	△4	99.7	2,736	+13.3	47.5
ネット通販	6,579	7,401	+822	+12.5	7,690	△288	96.2	16,420	+16.3	45.1
EC計	15,884	17,516	+1,632	+10.3	18,547	△1,030	94.4	39,432	+16.2	44.4

主要施策プロダクト軸進捗・見通し

見通し

➤ 品揃えの拡大は、確実に売上に貢献中。

	24/9 実績	25/9 実績	前年 同期比	伸率 (%)	26/3 上計画	達成率 (%)	26/3 年計画	通期 伸率(%)	進捗率 (%)
品揃え	万点 1,150	万点 1,310	万点 +160 (+70)		万点 1,310	100.0	万点 1,390	+12.1	46.7
WEB単独掲載品 売上高	百万円 9,290	百万円 10,058	百万円 768	+8.3	—	—	百万円 23,870	+20.2	42.1
サービス売上高	百万円 1,698	百万円 1,781	百万円 82	+4.9	—	—	百万円 4,267	+6.6	41.7
オリジナル品売上高	百万円 15,927	百万円 16,677	百万円 750	+4.7			百万円 35,777	+7.0	46.6

※WEB単独商品売上及びサービス売上はLB/ID/MDそれぞれに売上計上します。

	24/9 実績	25/9 実績	前年比	伸率 %	26/3 上計画	計画比	達成率 %	26/3 年計画	通期 伸率%	進捗率 %
中国	1,616	1,703	+86	+5.3	1,776	△73	95.9	3,686	+7.3	46.2
その他海外	1,060	1,318	+258	+24.3	1,305	+13	101.0	2,532	+16.5	52.1
海外計	2,677	3,021	+344	+12.9	3,081	△60	98.0	6,219	+10.9	48.6

※中国は元ベースでは上期8.7%増。為替想定レート期初予算1円 = 21.6円を下期予算20.9円へ修正

粗利見通し

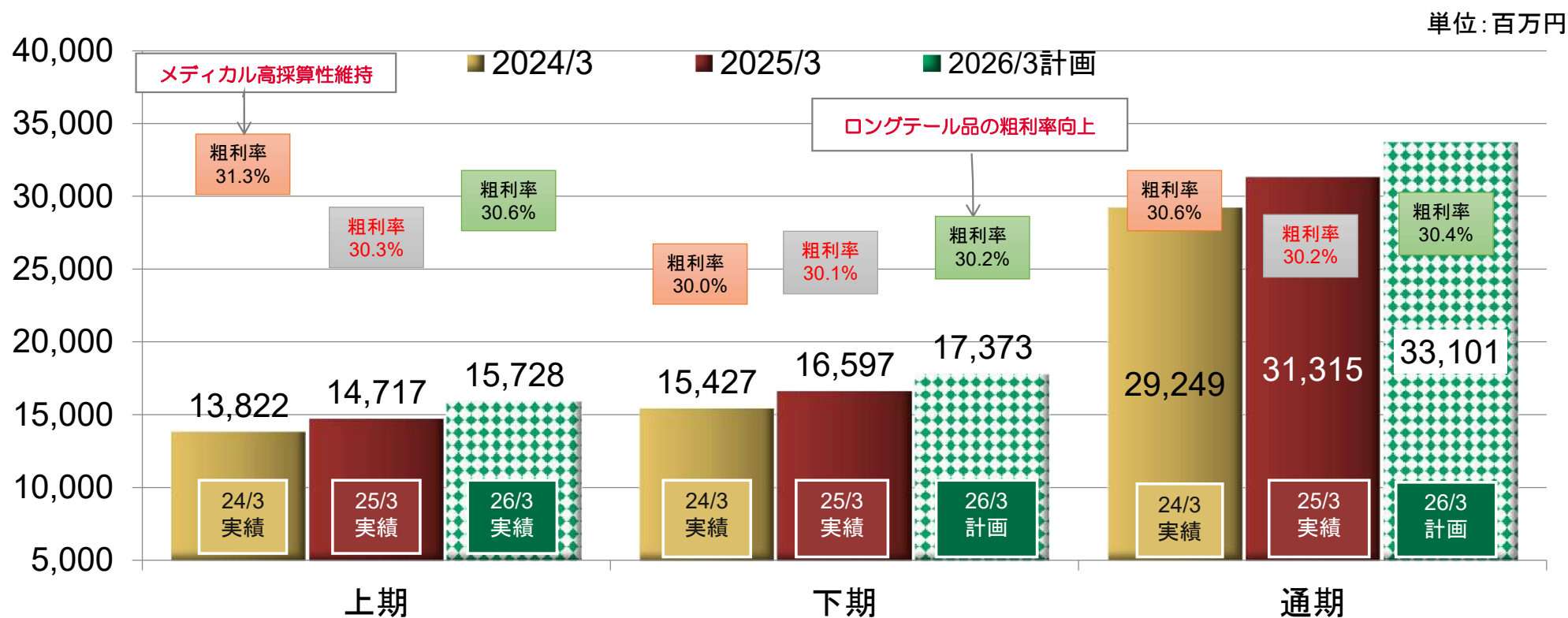
見通し

■ 売上総利益

331.0億円

前年同期比 **+5.7%**
+17.8億円

➤ 上期実績を勘案し、下期粗利率を見直し



■ 販管費

205.9億円

前年比 **+4.4%**
+8.7億円

➤ 人件費増や九州DC移転等で費用等増加見込み。

販 管 費	2025/3 実績	2026/3 修正計画	前年比増減額		通期前年比		補 足
			上期実績	下期計画	増減額	増減率	
販 管 費	19,721	20,591	+262	+607	+869	+4.4%	
広告宣伝費	776	588	△182	△6	△188	△24.2%	前年度研究用総合カタログと中国向けカタログ発刊。今年度医療向け総合カタログのみ発刊。
うちカタログ費	273	92	△184	+3	△180	△66.0%	
人件費	7,003	7,341	+80	+258	+337	+4.8%	賃上げ継続。中途採用も拡大予定。
うち退職給付関連	△102	117	△1	+220	+219	△214.5%	
運賃・倉庫作業料	5,178	5,271	+1	+93	+93	+1.8%	入出荷量増加 効率化推進
研究開発費	12	16	+3	+1	+3	+28.8%	次年度以降の新研究用総合カタログ向けPB品など
不動産賃借料	1,676	1,921	+226	+19	+245	+14.6%	上期は一次的な費用。下期影響なし。
減価償却費	889	942	+26	+27	+52	+5.9%	固定資産投資予算10億円
ソフト償却費	517	539	+2	+19	+21	+4.2%	IT投資予定8.4億円
その他	3,666	3,970	+107	+196	+303	+8.3%	九州DC移転、光熱費、設備修繕、備品消耗品費、手数料、システム費等

26/3期 予想損益計算書

見通し

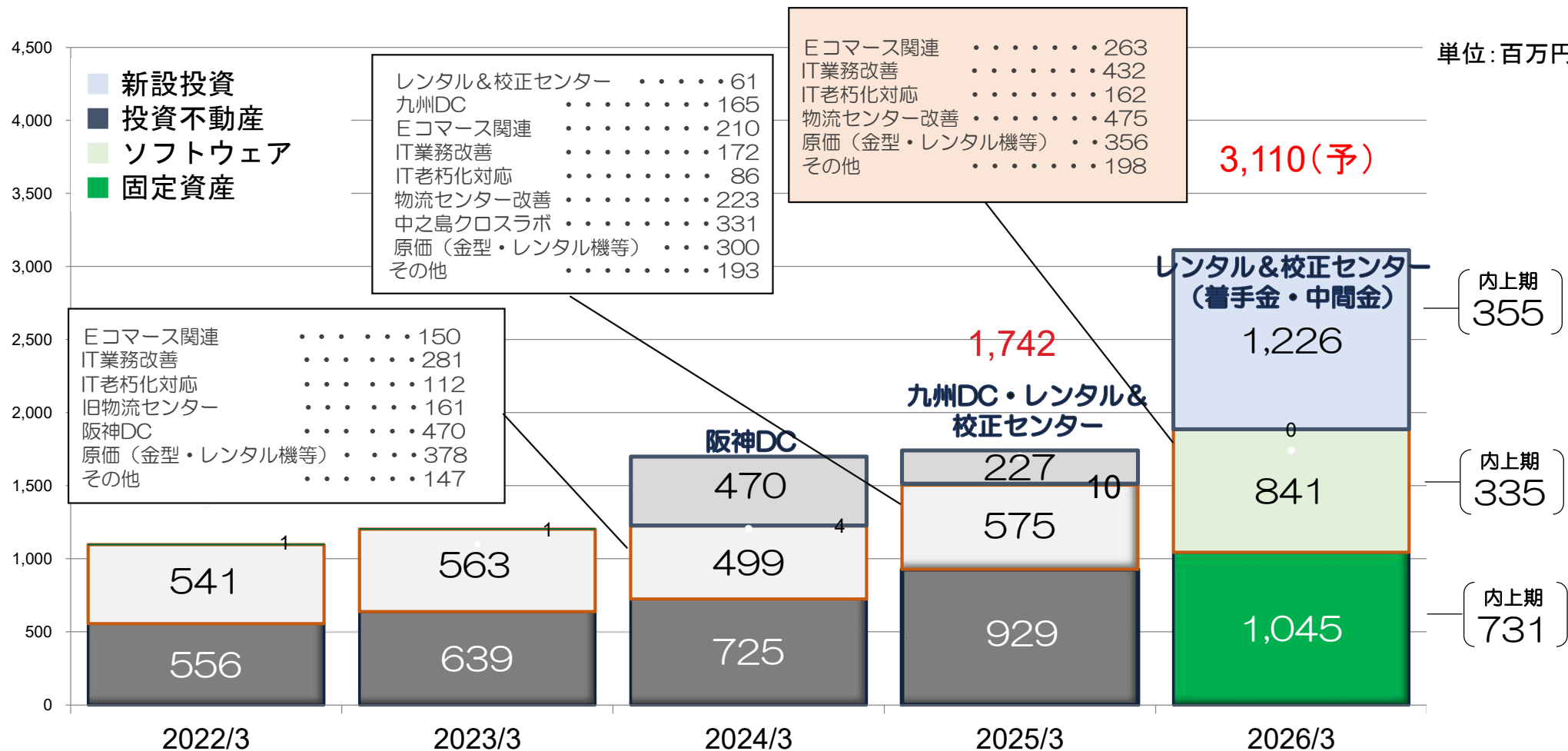
(単位：百万円)

	2025/3実績		2026/3計画		前年比増減額		通期前年比		補 足
	金額	売上比	金額	売上比	上期実績	下期計画	増減額	増減率	
売上高	103,751	100.0%	108,900	100.0%	+4,393	+7,253	+5,148	+5.0%	過去最高を見込む
売上総利益	31,315	30.2%	33,101	30.4%	+1,210	+2,456	+1,786	+0.2p	上期実績を勘案し、下期粗利率を見直し
営業利益	11,593	11.2%	12,510	11.5%	+282	+1,692	+916	+7.9%	過去最高を見込む
経常利益	12,071	11.6%	12,950	11.9%	+181	+1,611	+878	+7.3%	
特別損益	△ 165	△0.2%	0	0.0%	-	-	+165	-	非上場株式減損
当期純利益	8,229	7.9%	8,940	8.2%	0	0	+710	+8.6%	過去最高を見込む
当期純利益/1株(円)	114.89		124.77		0	0	+10	+8.6%	
配当金/1株(円)	62.00		63.00		0	0	+1	+1.6%	

投資推移

見通し

➤ 大阪市内の自社保有地に新レンタル&校正センター総額28億円で建設中。稼働開始は2027年1月予定。

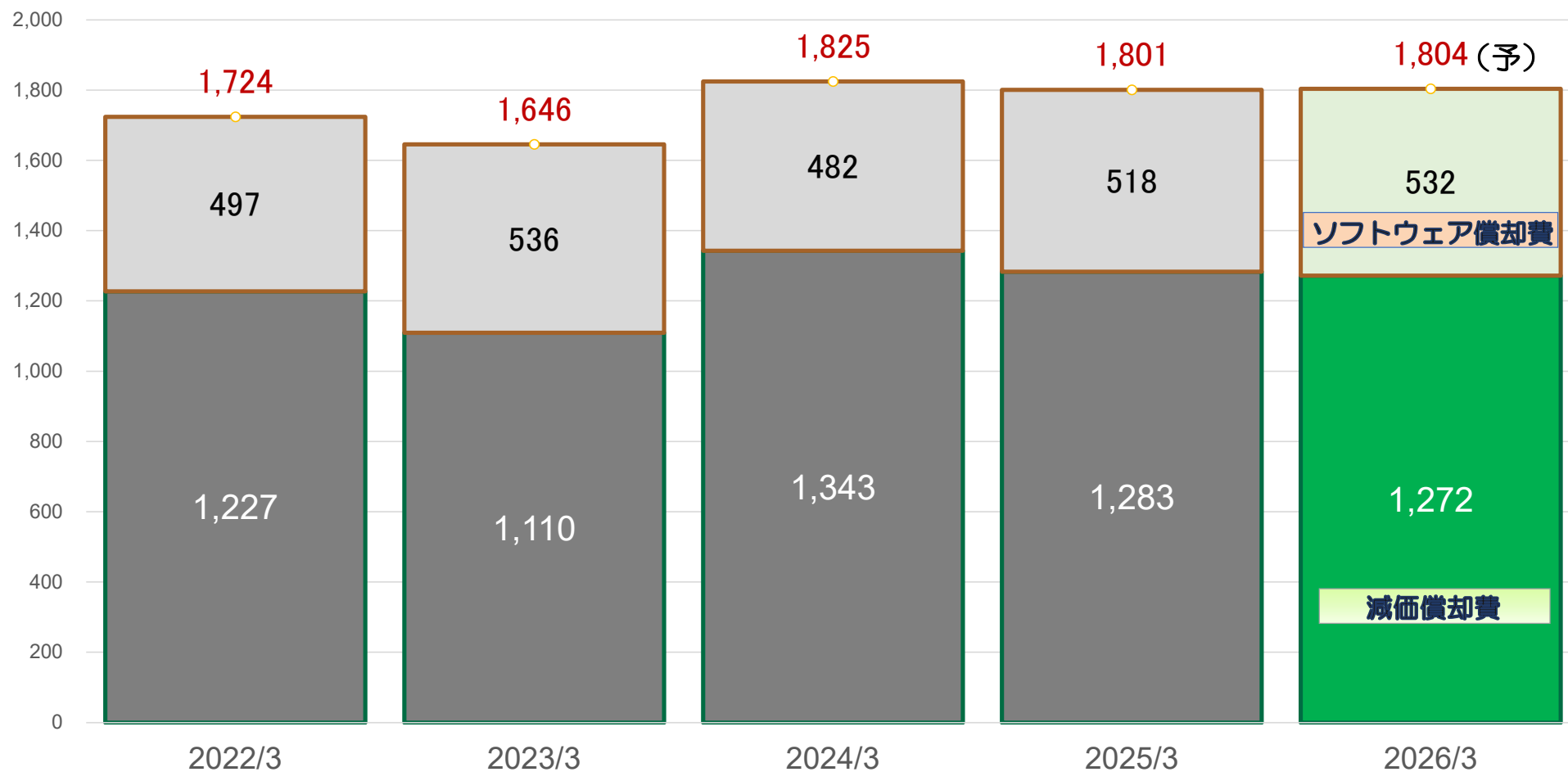


償却費推移

見通し

➤ 例年並みを見込む。

単位: 百万円



Ⅲ 上期総括および今後の見通し

1. 26/3 上期計画・実績
2. 26/3 通期目標修正
3. 研究市場規模(TAM)の拡大
4. 研究機器を取り巻く課題
5. 重点施策①～⑧
6. サステナビリティ
7. キャッシュアロケーション①～③
8. 長期ビジョン

1. 26/3 上期計画

売上

- ラボ・インダストリー
 - ・官民の研究費増額気運への期待
 - ・品揃え拡大とDX潮流に乗ったECで拡大

➡ 計画+9.7%

- メディカル
 - ・2024年診療報酬改定による備品買い控えの鎮静化
 - ・CPC（細胞培養加工施設）や新規開業の案件増加に注力

➡ 計画+6.0%



売上計画

+9.0%増

530.2億円

営業利益

- 粗利率前年下期並、増加粗利益+12.1億円
- 6月より九州DC開設し移転費用・賃借料発生
- 運賃・作業費値上げ圧力をコスト反映
- 賃上げや出張等の対面活動増でコスト増⇒販管費+9億円



営業利益計画

+ 5.3%増

55.5億円



1. 26/3 上期実績

売上未達も販管費抑制し営業利益計画超過

売上

514.1億円

前年比 +5.7% +28億円

計画比 △3.0% △16億円



売上：ラボ・インダストリー前年比+32億円

■ ラボラトリー	上期	前年比+7.6%	計画比△2.0%
■ インダストリー	上期	前年比+9.3%	計画比△0.2%

■ 品揃えの拡大による機会拡大

売上：メディカル前年比△4億円

■ メディカル 上期 前年比△5.2% 計画比△10.5%

■ 診療報酬改定・働き方改革等の影響が想定より長引く
■ 日本全国の病院の6割以上が赤字

営業利益

60.2億円

営業利益率11.7%

前年比 +14.2% +7.5億円

計画比 +8.4% +4.7億円



営業利益：粗利率維持・販管費抑制

■ 粗利率 上期30.6% 前年比+0.3p 計画比+0.6p

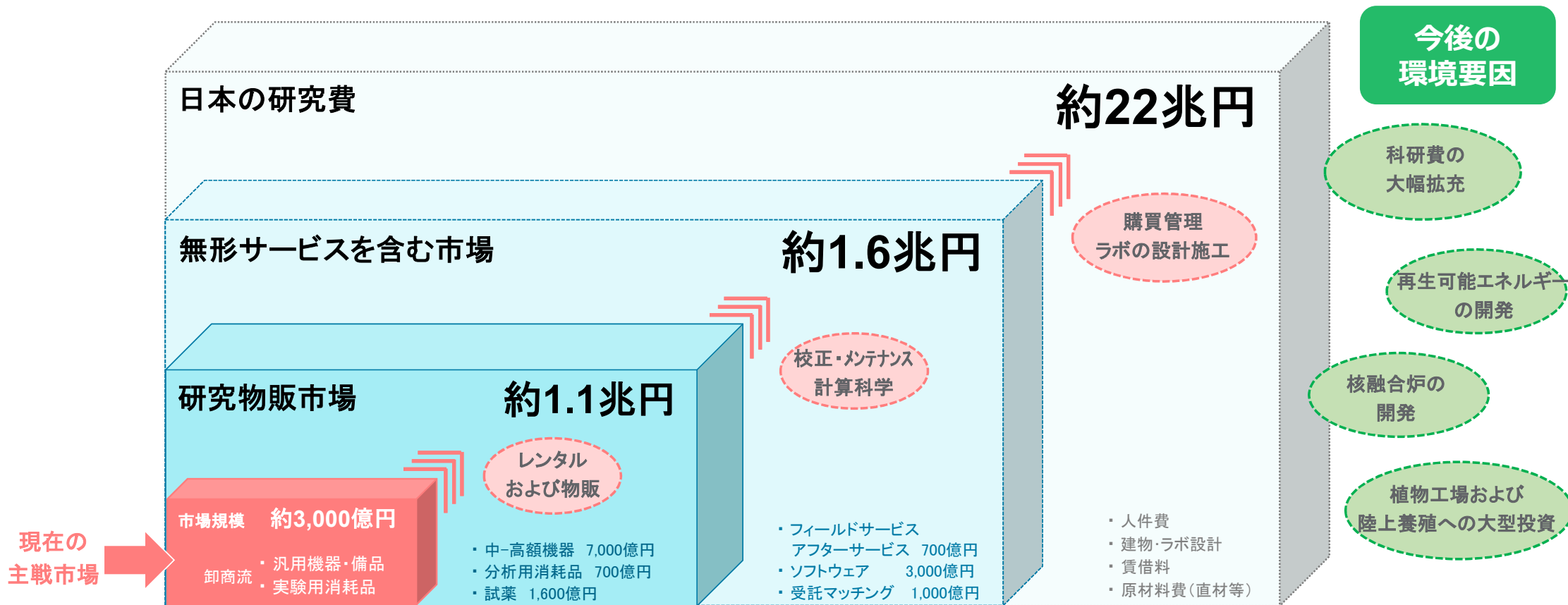
■ 販管費率 上期18.9% 前年比△0.5p 計画比△0.7p

2. 26/3 通期目標修正

	指標				
	期初目標	FY2024比		修正目標	期初比 FY2024比
売上高 (億円)	1,122	+8.2%	▶	1,089	↓ +5.0%
営業利益 (億円)	122	+6.0%	▶	125	↑ +7.9%
営業利益率	10.9%	△0.2pt	▶	11.5%	↑ +0.3pt
環境要因	・医療機関の経営環境の厳しさ ・米国の通商政策の影響を受け、輸出関連企業から波及して一時的に日本経済への影響を及ぼすリスクを考慮 ・ECを活用するDX機運をとらえ、ラボ・インダストリーだけでなく、メディカルのocean接続数も加速				

3. 研究市場規模（TAM）の拡大

研究市場における「ヒト・モノ・カネ・情報サービス」の領域にアプローチし、成長ポテンシャルを飛躍的に拡大



出所:総務省「科学技術研究調査(2024)」、経済産業省「企業活動基本調査(2023)」、社団法人研究産業協会「研究開発サービス業の生産性向上と競争力強化に関する調査(2009年3月)」等を元にした推計値

4. 研究機器を取り巻く課題

研究機器のサプライチェーンにおける困りごと 「3つのない」

研究者の困りごと

- 最先端の機器を使いたい
- 故障した機器を買い替えたい
- 機器類の値上がりが研究予算を圧迫
- 書類作成や事務手続に時間を取られ研究に専念できない
- 発注しても納品までに時間がかかる
- 発注業務や在庫管理が大変
- 使わなくなった機器が放置されている
- たまにしか使わない機器がある
- 消耗品の在庫が場所を取っている
- 単純な反復実験に時間を取られる

お金がない

時間がない

もったいない

サプライチェーンの困りごと

- ユーザーニーズを調査したい **メーカー**
- 製品データの整備ができない **メーカー**
- 人手確保が難しい **販売店**
- 納期や見積を確認しても、すぐに分からない **販売店**
- ユーザーへの納品・配達に業務時間を取られる **販売店**
- アフターサービス部門の稼働率が低い **メーカー**
- 需要予測が難しく、過剰な在庫を保有 **メーカー**
販売店

“4-Stock” コンセプト

在庫が見える



すぐ届く

“最適な資産管理で解決”

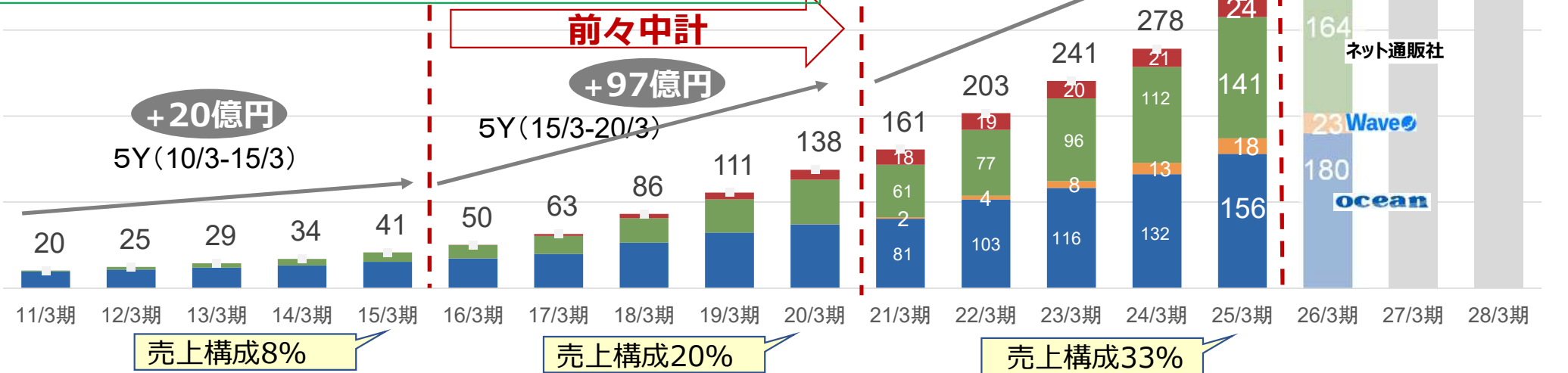
5. 重点施策 ① eコマース

売上トップライン成長の核として、高い成長速度の維持を目指す

上期売上 **175.1億円** (前年上期比 **+10.3%** / **+16.3億円**)

ユーザー内ストア+在庫管理サービス

- ・ユーザー研究施設内への保管庫の設置
 - ・RFIDを活用した入出庫管理の簡便化
 - ・在庫の見える化、自動発注による在庫管理機能の提供
- 当社の在庫管理、入出庫管理ノウハウを活かしてユーザーの利便性向上



5. 重点施策 ②シェアDB & 商品点数

品揃えとロングテール品売上実績の拡大

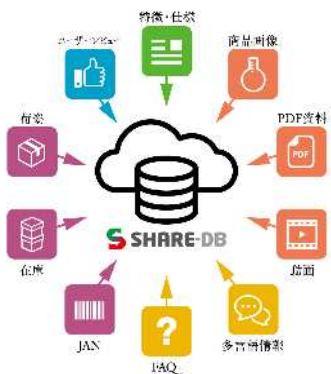
品揃え 上期末 **1,310**万点 (前年上期比 **+160**万点)

web単独
掲載品売上 上期 **100.6**億円 (前年上期比 **+8.3%** / **+7.7**億円)

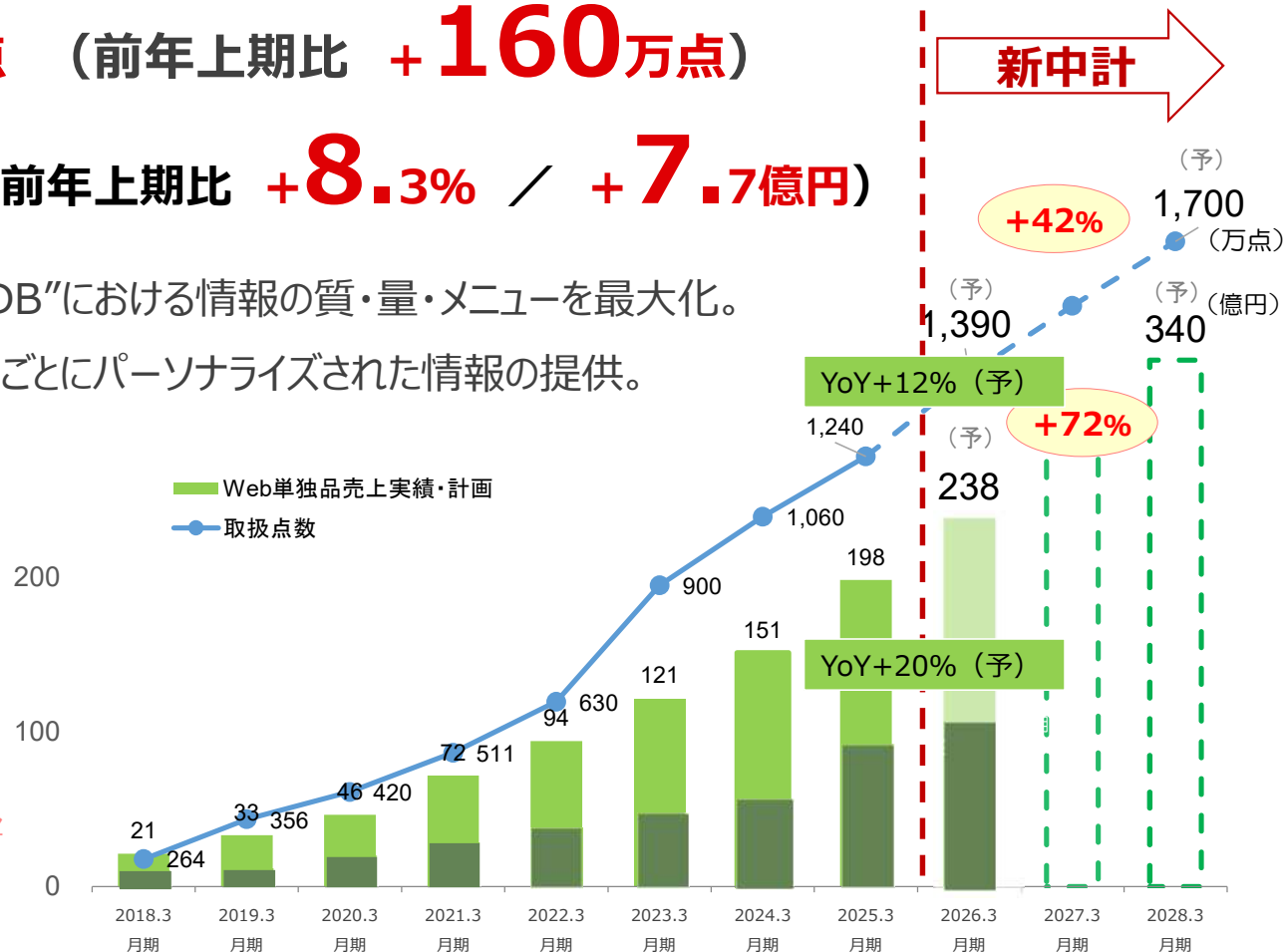
- 商品データベースのオープンサイト“SHARE-DB”における情報の質・量・メニューを最大化。
- データに基づく商品情報の拡充と、顧客特性ごとにパーソナライズされた情報の提供。

SHARE-DB

AXEL2.0



検索エンジンのリニューアル
による検索性と
UIの飛躍的向上



5. 重点施策 ③サプライヤー在庫の見える化

日本のどこかに在庫がある（2～3日で商品が届く）安心感

「仮想倉庫」による在庫の効率化を推進

バーチャル在庫
(ロングテール品)



約1,000億円

900億円

100億円

2023年9月

約1,390億円

1,290億円

100億円

2024年9月

約1,720億円

1,620億円

100億円

2025年9月

+330億円

+382億円

3日以内の
出荷率83%

当日出荷

アズワン在庫

アズワン品番	8-171-12
JANコード	4946368667737
型番	CD-20APX
入り数	1個
標準価格	24,000円 (税抜)
WEB価格	22,500円 (税抜)
出荷予定日	15時までのご注文で 本日出荷
アズワン在庫 [?]	2
サプライヤー在庫 [?]	2,480
数量	
カートへ入れる	

5. 重点施策 ④サプライチェーン在庫の見える化

業界の川上から川下まで巻き込んだサプライチェーン全体の在庫の見える化による調達革命

- サプライヤー保有在庫データを当社AXELに表示（688社・1,620億円分）
- メーカー、アズワン、販売店、ユーザーの在庫を当社が管理することでムダ・ロスをなくし、調達の効率化
- ユーザーにとって使いたいものがどこにあるかが見える化され、調達の手間を減らし、本業に専念出来る環境を創り出す

“4-Stock”コンセプト

- 業界内での在庫の共有・自由化
- 在庫管理・発注管理からの解放

サプライチェーン全体
在庫の見える化

既存※サプライヤー在庫の見える化

サプライヤーの在庫

見える 688社
1,620億円分



2~3日で届く

AS ONEの在庫

見える 100億円分



翌日に届く

NEW

販売店の在庫

見える (例) 1,000万円分



当日に届く

ユーザーの在庫

見える (例) 100万円分

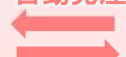


すぐに使える

自動発注



自動発注



自動発注



サプライヤー

- ・生産タイミングの調整
- ・ムダな生産の削減

販売店

- ・納期確認作業不要
- ・配送の効率化

ユーザー

- ・社内適正在庫が分かる
- ・発注管理不要（在庫量管理）
- ・ムダな在庫を削減

5. 重点施策 ⑤物流機能

データドリブン活用による運賃抑制

データを活用し、物流を最適構築化

ロングテール品（少量多品種）の物流業務効率化

<配送距離削減>

データ活用により、単品累計で月間削減距離は地球18周分に相当する約74万Kmに達し、運送逼迫の軽減や脱炭素にも繋げる。



**毎月地球
18周分の
配送距離を削減**

販管費うち運賃・倉庫作業料 2024年度上期：2,543百万円
2025年度上期：2,544百万円
売上成長するも費用抑制

自社物流機能の強化

■ 九州DC新設

- ・ 延床面積 **2,560坪**(現行センターの**2.6倍**)
- ・ 新規マテハン - **棚搬送AGV** 導入



→ピッキングの省人化を実現

→各物流センターへの導入も段階的に検討



九州DC紹介動画



■ 次世代の物流投資検討

- ・ **SmartDCの増床**
- ・ **AGVの導入**



5. 重点施策 ⑥サービス事業

物販とのワンストップ、多品種一括のワンストップで早期解決。サービス領域拡大が続く

上期売上 **17.8億円**（前年上期比 **+4.9%** / **+0.8億円**）

- 新レンタル&校正センター新設（2027年1月稼働開始）

投資額 28億円 延床面積 1,800坪／6,000m² 現センター比 3倍

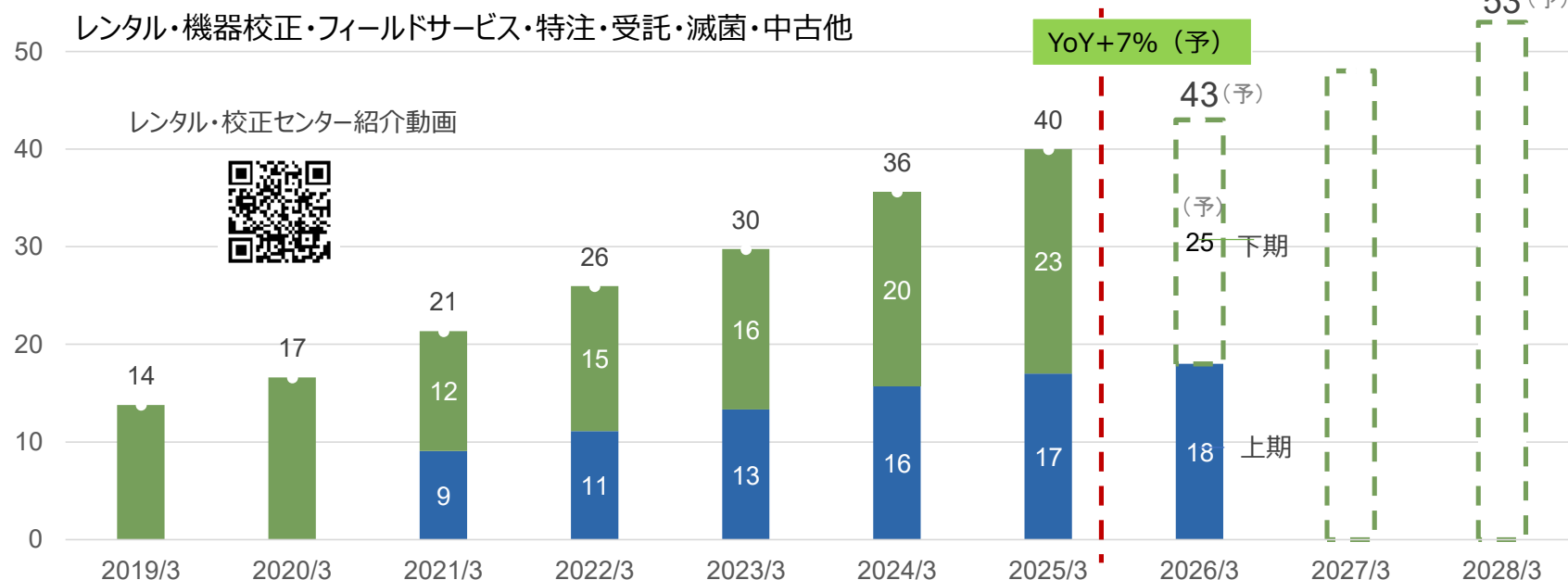


- レンタル領域の拡大
建設業界／病院治験

- 校正作業の体制強化
JCSS認定取得



JCSS
JCSS 0376



5. 重点施策 ⑦オリジナル品

独自性・専門性の高いオリジナル品の開発スピードを加速し、収益性向上

- Wブランド＝『メーカーの高い品質×アズワンの幅広い流通』によるサプライヤーとの新しい協働
- NB(ナショナルブランド)とオリジナル品双方のメリットを狙う

Wブランド品の展開

オリジナル品

商品点数（含P B品）：10万点

サプライヤー数：約1,000社

＜高収益モデルの源泉＞



売上シェア
33%

＜展開例＞

SHIMADZU

×

AS ONE

HORIBA

×

AS ONE

GALILEI

×

AS ONE

YAMAMOTO

×

AS ONE

+

Wブランド品

＜メリット例＞

アズワンの幅広い流通網を使って品質の良い商品をタイムリーに提供
OEM化への手間削減と生産ロット削減によりサプライチェーン効率化



5. 重点施策 ⑧新たな取り組み

院内在庫管理サービスMare's

■ 新たなECツール



- ・院内在庫管理や発注管理をDX化
- ・ニーズに合わせたメニューの取捨選択が可能

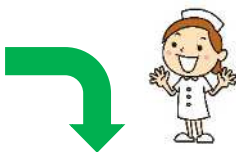


■ 既存のoceanをメディカル向けにカスタマイズ

購買管理機能

- 見積もり
- 発注

ocean



在庫管理機能

- | | |
|------|------|
| 定数管理 | 期限管理 |
| 物流加工 | 発注管理 |

物品管理カードの
投函による自動発注

ライフ・ヘルスサイエンス

■ 再生医療・創薬企業向けビジネス

- ・細胞培養加工施設(CPC)
医薬品製造施設(GMP)の施工
➡2023年新規参入以降
施工件数累計13件
- ・中之島クロスラボの本格稼働



■ BX(※)ビジネス

- ・ドロップレット作製装置、セラミック3Dプリンターを使った受託サービス

※BX: バイオトランスフォーメーション

防災・BCP

■ 防災対策

- ・商材の増強に加え、専門メーカーとタイアップし、2,500点アイテムを掲載する共同制作カタログを発刊

■ 備蓄管理システムの構築検討

- ・高まるBCPニーズに対して、自治体と連携した備蓄の在庫管理システムの構築や有事の際の在庫活用協定の締結
- ・備蓄品の保管、在庫、期限管理
- ・災害発生時における在庫把握・確保



大阪市西区との協定

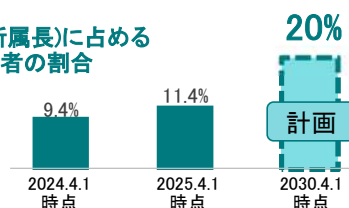
6. サステナビリティ

取り組み

■ ダイバーシティ

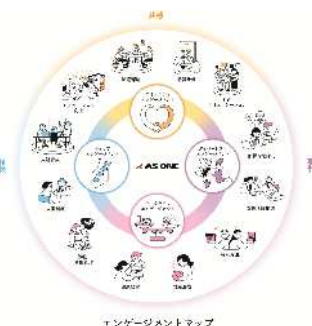
2030年の管理職目標(20%以上)達成に向け働き方のメニュープランや各種研修等を充実2024年度には、**えるぼし**、**くるみん**の認定を取得。さらなる上位認定を目指し、職場環境の整備推進

管理職(所属長)に占める
女性労働者の割合



■ エンゲージメントマップ

会社のことを深く理解するため、会社の制度、施策、取り組みなどを纏た「エンゲージメントマップ」を作成



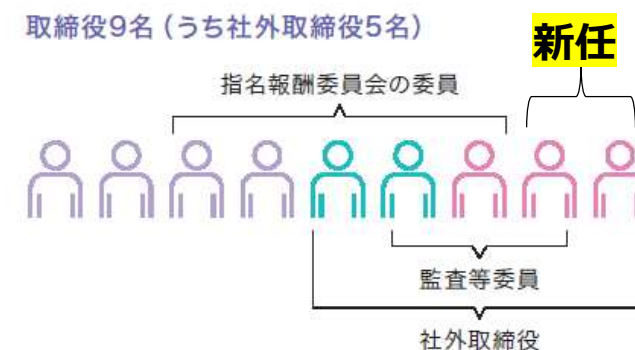
■ 真面目な雑談

「いい仕事に繋げる」目的で社員同士の交流「アズ飲み」を定期的開催



■ 女性取締役推進

2025年6月開催の株主総会にて新たに2名の女性取締役を選任。
過半数が社外取締役



7. キャッシュアロケーション ①基本方針

基本方針

- 積極的な成長投資と効果的な株主還元の両立を目指す
- 既存事業の進化のための投資に加え、M&A・アライアンス等の戦略投資を積極的に行う
- 中計期間中に投資案件が具現化しない場合は、追加の株主還元を検討する



7. キャッシュアロケーション ②進捗

キャピタルアロケーション想定 (3年分)

■ 将来の成長に向けた投資と株主還元と同程度配分する方針



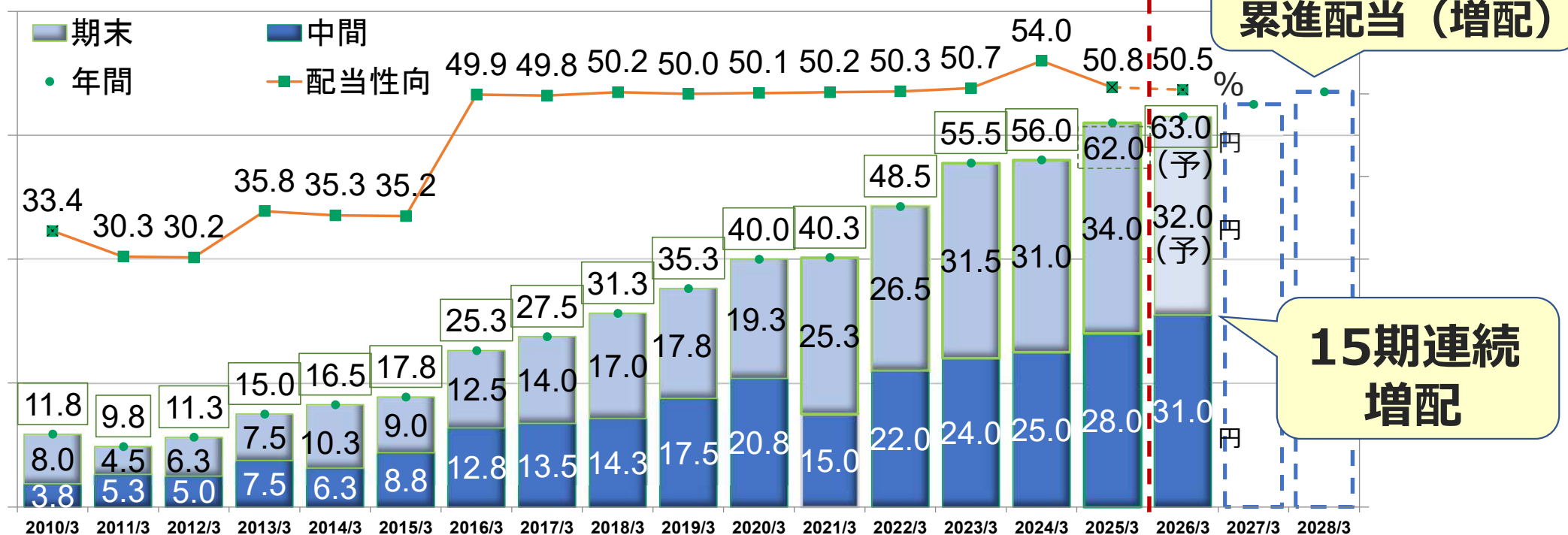
2025年度 上期実績	2025年度 見通し
営業キャッシュ・フロー +有価証券圧縮 43億円	82億円+ α
14億円	31億円
-億円	+ α
前期末配当 24億円	前期末+中間配当 47億円
自社株買付 0.5億円	10億円

必要に応じ機動的に実行

7. キャッシュアロケーション ③配当予想

15期連続増配+2027年度までの3年間累進配当(増配)予定

配当方針：基準利益の50%以上+増配



※1. 2022年1月と2024年4月に各1株を2株に分割。過去に遡及して配当額を4分の1及び2分の1に補正済。

※2. 2023年3月期より50%の元となる基準値より特別損益の影響額を控除する方針に変更。

8. 長期ビジョン「AS ONE VISION-2035」

提供価値

「見える・つながる・手に入る」イノベティブ・プラットフォーム

～ハブ機能とインテリジェンスを活用して、研究・開発・医療の発展に貢献する～

ありたい姿

持続的+非連続的な成長と高効率経営の両立

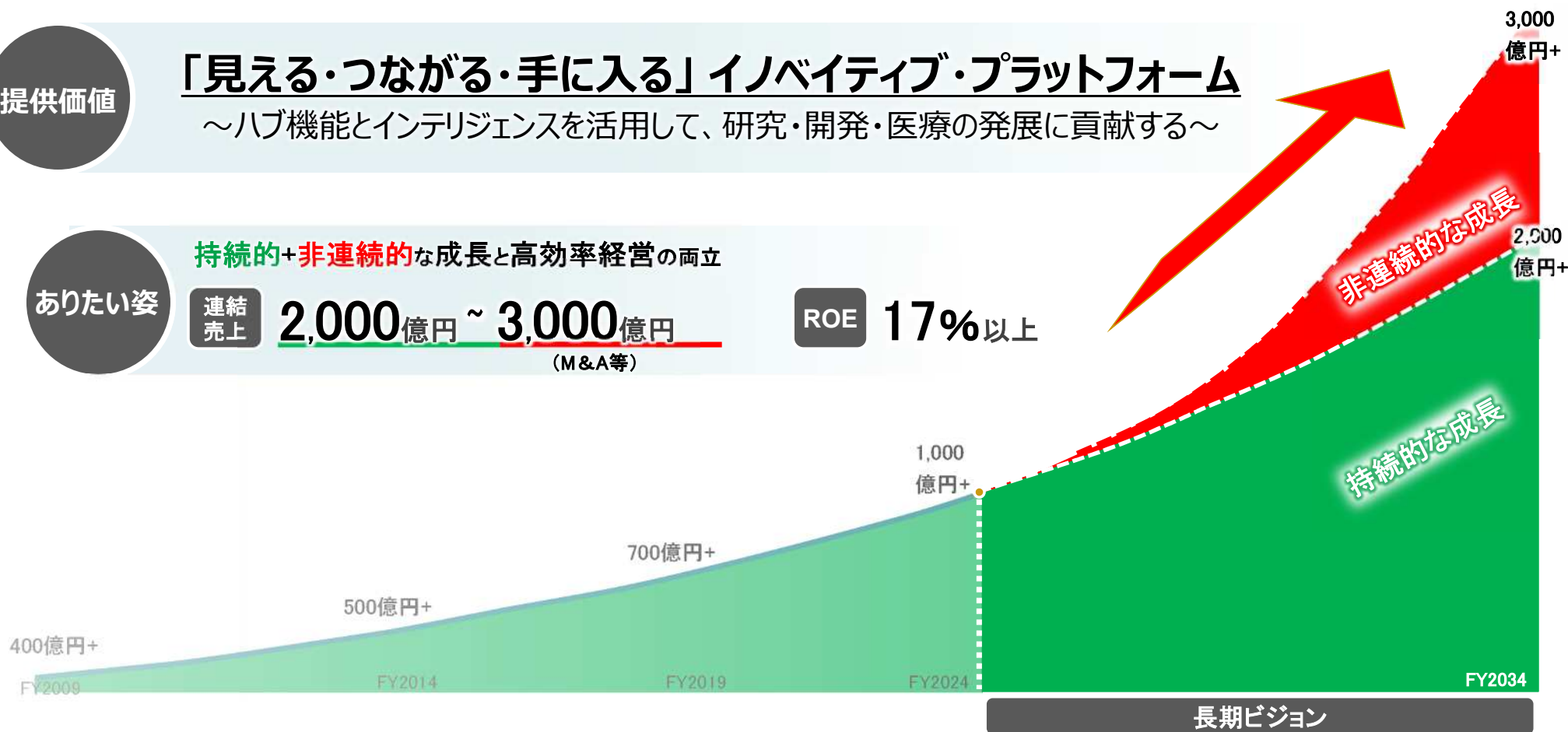
連結
売上

2,000億円 ~ 3,000億円

(M&A等)

ROE

17%以上



アズワンウェアの作成

さらなる事業拡大を目指し、
「アズワンウェア」を作成。
アウトドアウェアの有名メーカーとの
Wネームで多様性にも対応した
色とりどりの鮮やかなウェアが
完成しました。



mont·bell

 **AS ONE**

決算概要・中期経営計画・ビジネスモデル等にご質問がございましたら
こちらまでご連絡ください。

広報 I R 部
06-6447-8821
asone_ir@so.as-1.co.jp

ビジネスモデル解説資料2025年9月改定版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym8/186285/00.pdf

中期経営計画FY2025-27

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/178724/00.pdf

参考データ

(参考) ロングテール商品がクイズプログラムに

東京大学発の知識集団「QuizKnock」のYouTubeチャンネル『QuizKnock会議中【サブチャンネル】』で、当社のカタログと、取り扱い商品を題材に番組が構成されました。

研究・実験器具のロングテール度合いの一端を感じ取っていただけたと思います。
ご一興にご覧ください。(約20分)



分厚すぎるカタログで実験器具クイズ

<https://www.youtube.com/watch?v=JppBaoiKG-c>



(参考) 紹介動画 (スマートDC・レンタル&校正センター・九州DC)

スマートDC



https://www.youtube.com/watch?v=ZO-ojF2NjI4&feature=emb_logo

https://www.youtube.com/watch?v=W1Oh3Svxh_k (翻訳入り)

レンタル&校正センター



<https://www.youtube.com/watch?v=SpHeL4oxTkM&t=1s>

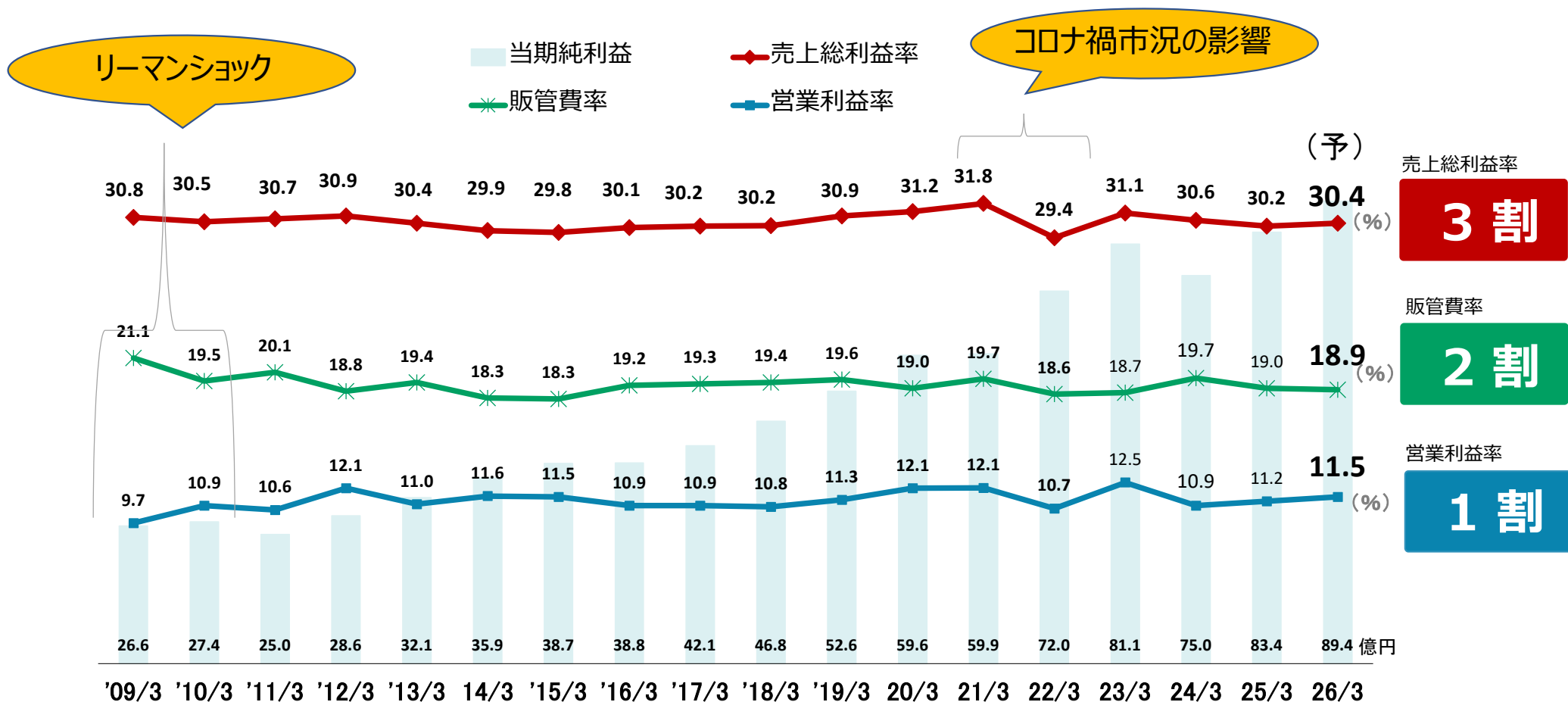
九州DC



<https://www.youtube.com/watch?v=m-Kp-1W524M>

(参考) 収益率推移

➤ ブレの少ない高収益体質。



(参考) 分野別売上ヒストリカルデータ

	3/2001	3/2002	3/2003	3/2004	3/2005	3/2006	3/2007	3/2008	3/2009	3/2010	3/2011	3/2012	3/2013
売上高	30,617	29,332	31,417	34,462	36,747	40,506	44,242	46,088	44,762	43,808	45,532	47,204	48,128
	－	95.8%	107.1%	109.7%	106.6%	110.2%	109.2%	104.2%	97.1%	97.9%	103.9%	103.7%	102.0%
[LB:ラボラトリー]	18,510	17,459	18,573	20,421	21,539	23,997	26,173	27,284	25,960	25,012	26,193	27,385	27,632
	－	94.3%	106.4%	109.9%	105.5%	111.4%	109.1%	104.2%	95.1%	96.3%	104.7%	104.6%	100.9%
[ID:インダストリー]	5,864	5,245	6,034	6,886	7,867	8,301	9,137	9,919	9,200	8,404	9,514	9,846	9,440
	－	89.4%	115.0%	114.1%	114.2%	105.5%	110.1%	108.6%	92.8%	91.3%	113.2%	103.5%	95.9%
[MD:メディカル]	5,901	6,284	6,527	6,854	7,036	7,838	8,539	8,680	9,602	10,391	9,825	9,973	11,057
	－	106.5%	103.9%	105.0%	102.7%	111.4%	108.9%	101.7%	110.6%	108.2%	94.6%	101.5%	110.9%
その他	341	342	282	299	305	369	392	204	事業売却		－	－	－
	－	100.3%	82.4%	106.0%	102.0%	121.0%	106.2%	52.0%	－	－	－	－	－

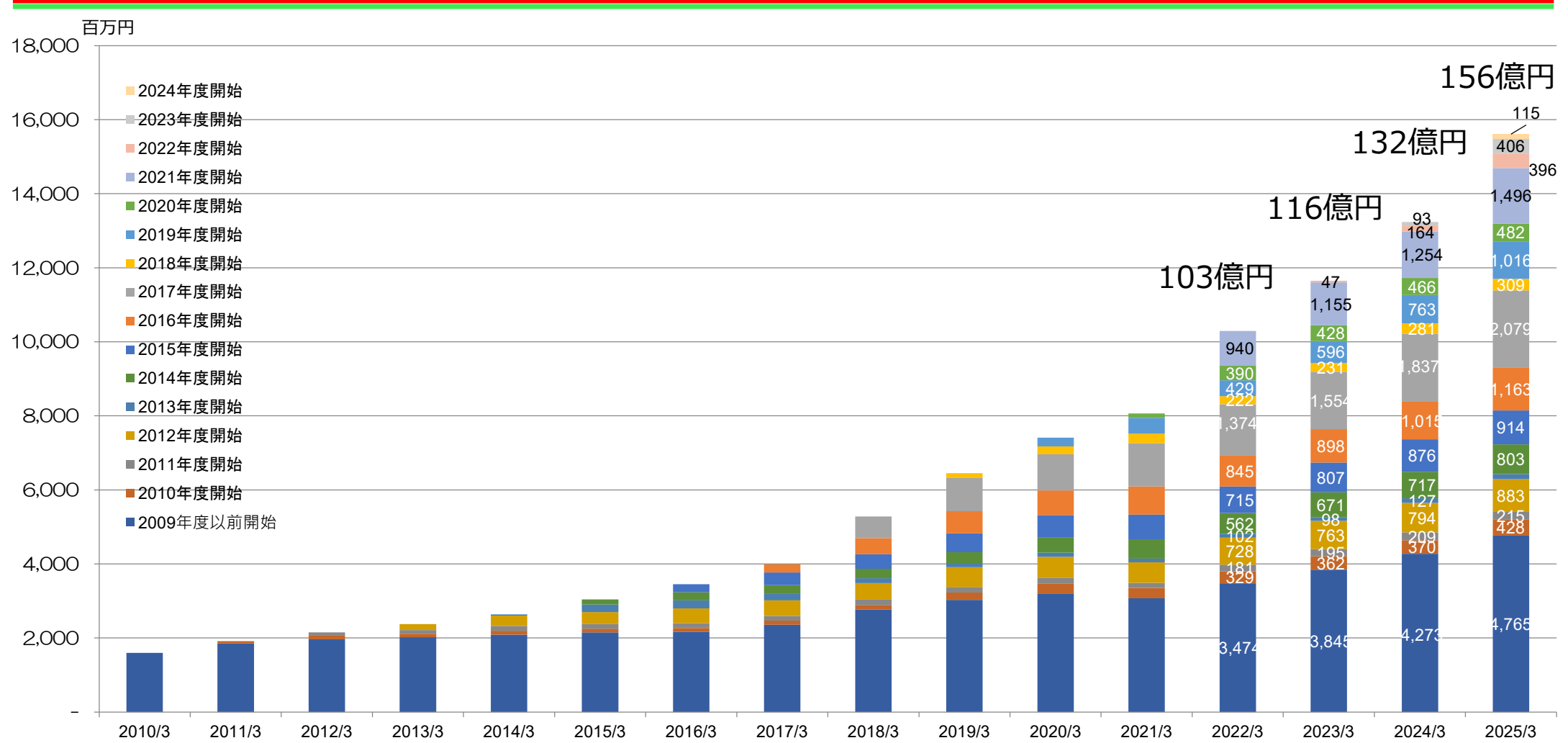
ITバブル崩壊

リーマンショック

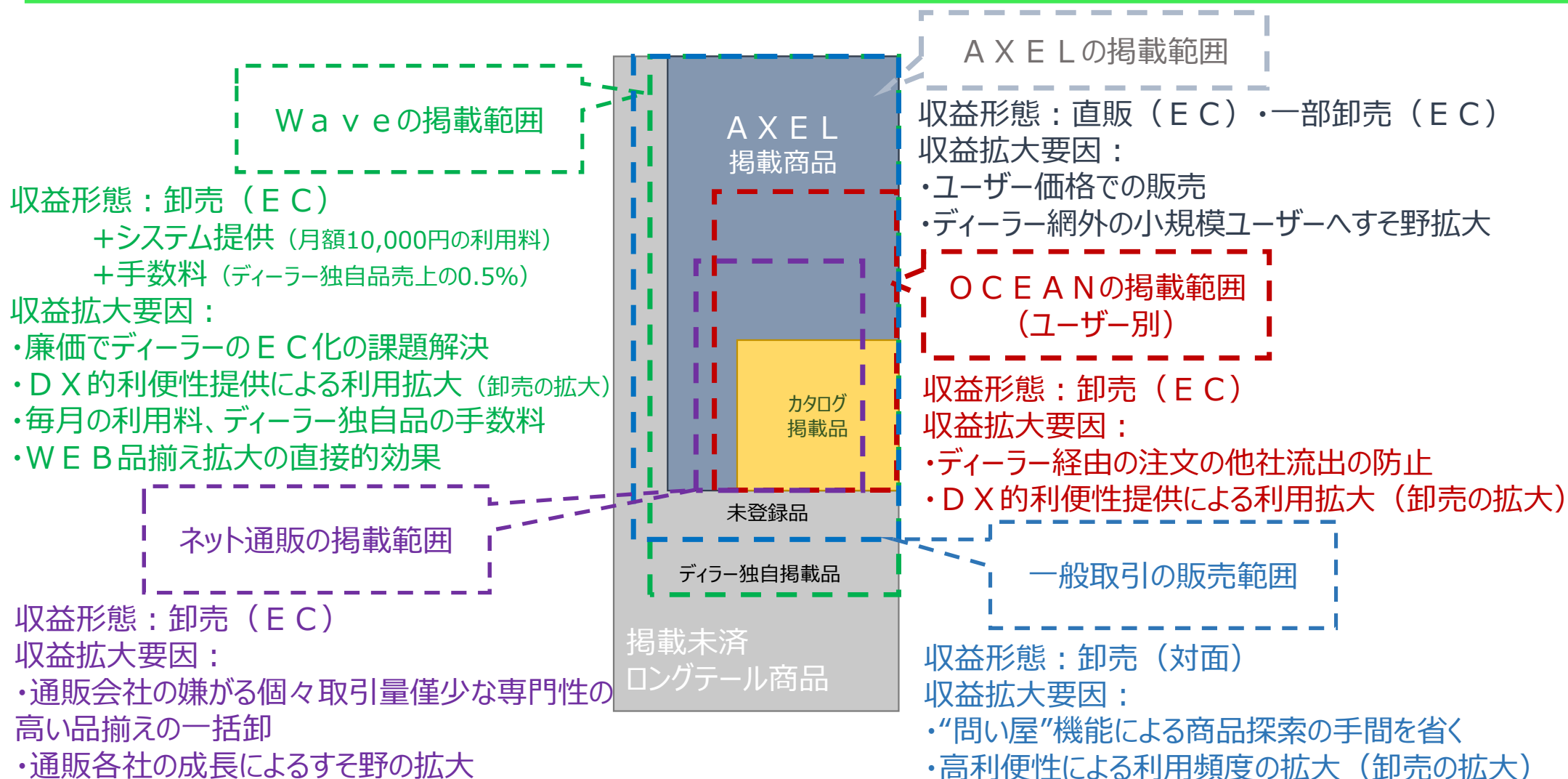
	3/2014	3/2015	3/2016	3/2017	3/2018	3/2019	3/2020	3/2021	3/2022	3/2023	3/2024	3/2025
売上高	51,192	52,042	53,577	55,948	60,960	66,733	70,390	81,606	86,954	91,421	95,536	103,752
	106.4%	101.7%	102.9%	104.4%	109.0%	109.5%	105.5%	115.9%	106.6%	105.1%	104.5%	108.6%
[LB:ラボラトリー]	29,756	30,158	31,206	32,356	35,293	38,918	41,073	44,745	51,236	54,094	59,013	63,889
	107.7%	101.4%	103.5%	103.7%	109.1%	110.3%	105.5%	108.9%	114.5%	105.6%	109.1%	108.3%
[ID:インダストリー]	9,850	10,376	11,211	12,170	13,649	14,728	15,117	15,391	16,799	18,165	19,286	22,178
	104.3%	105.3%	108.0%	108.6%	112.2%	107.9%	102.6%	101.8%	109.1%	108.1%	106.2%	115.0%
[MD:メディカル]	11,587	11,507	11,160	11,422	12,017	12,662	13,779	21,049	18,408	18,586	16,683	17,094
	104.8%	99.3%	97.0%	102.3%	105.2%	105.4%	108.8%	152.8%	87.5%	101.0%	89.8%	102.5%
その他	－	－	トライアンフ21買収				425	421	420	509	575	591
	－	－	－	－	－	－	99.0%	99.8%	121.1%	112.9%	96.2%	106.9%

統合レポート連続財務サマリー https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym4/163947/00.pdf

(参考) 集中購買開始年度別売上推移

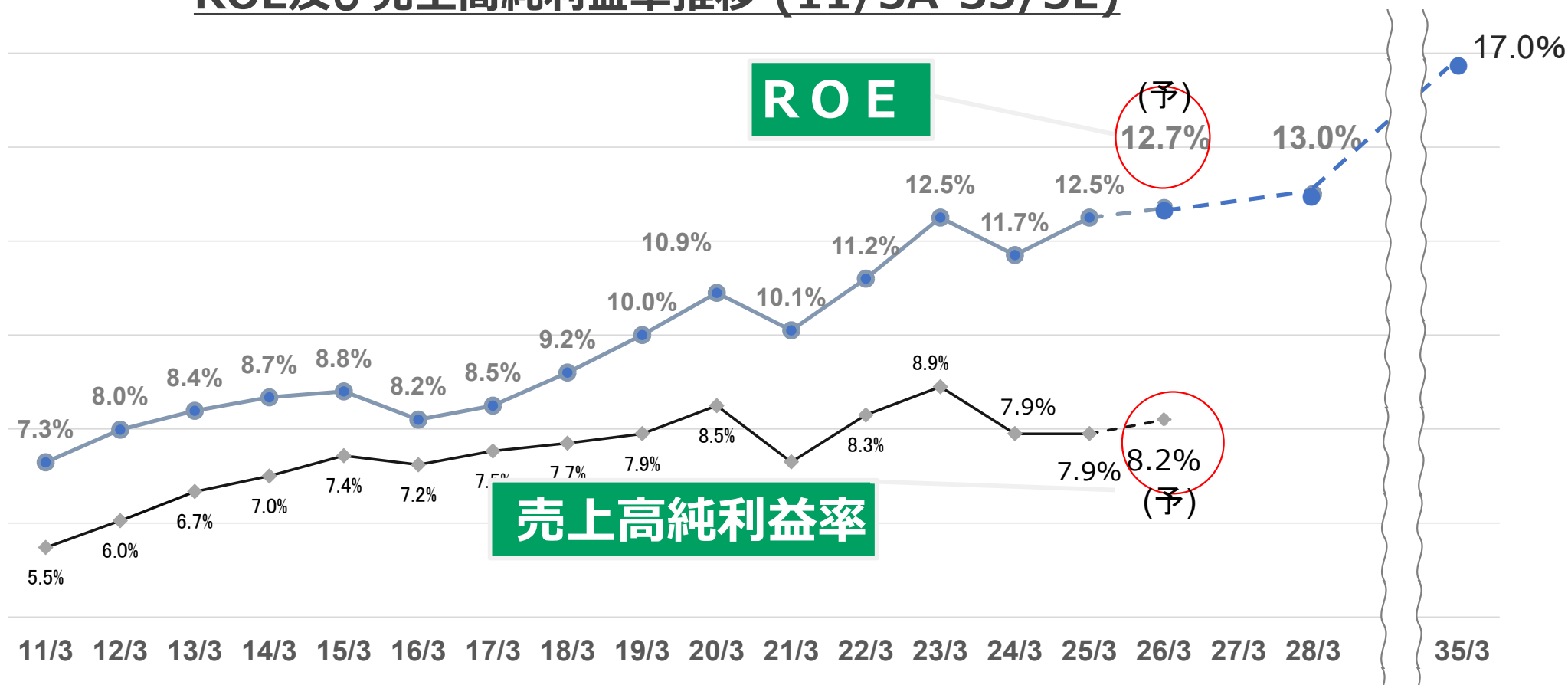


(参考) 販売形態別の掲載範囲イメージと収益拡大要因



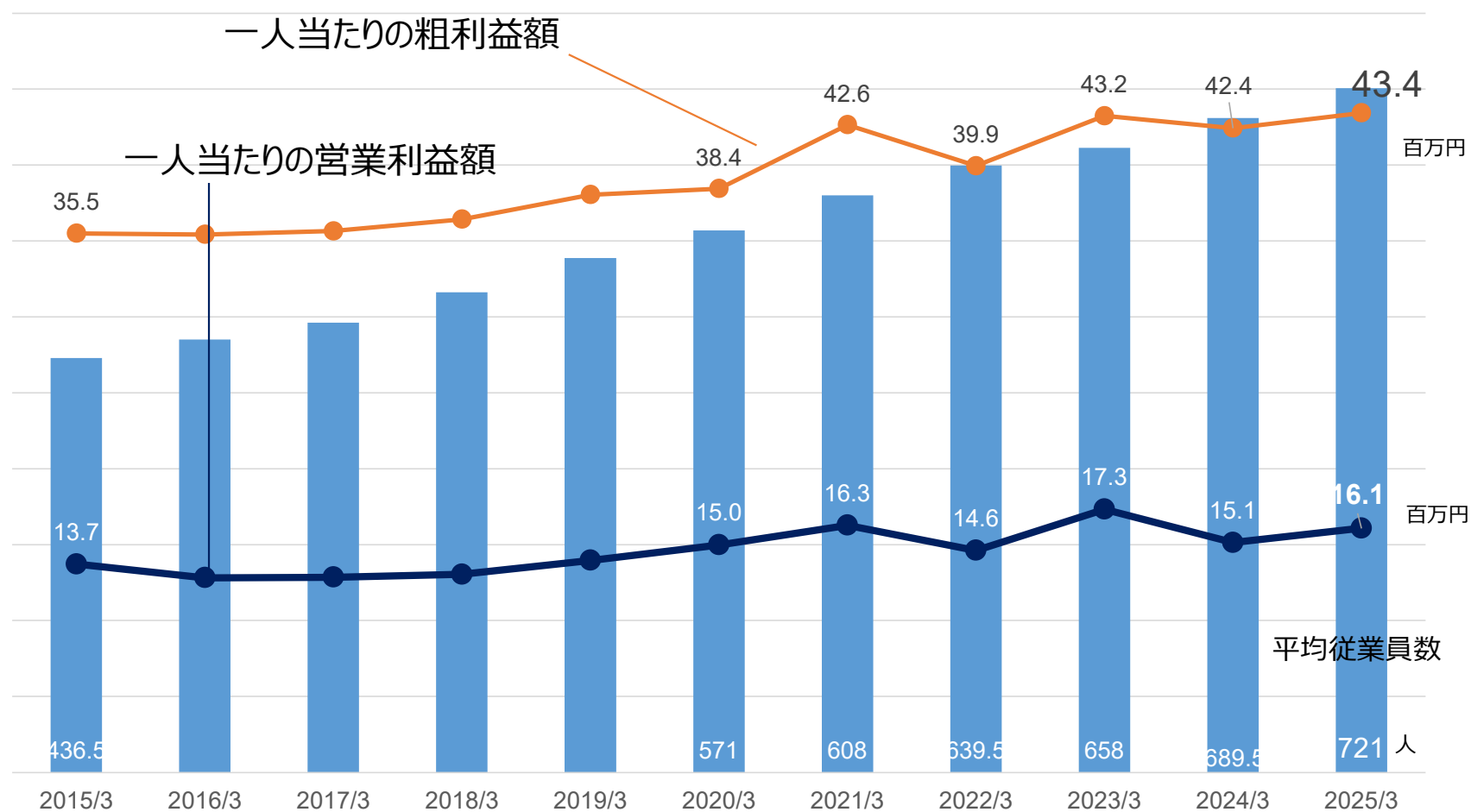
(参考) ROE向上を目指す

ROE及び売上高純利益率推移 (11/3A-35/3E)



資本コストを意識した経営による資本効率の更なる向上

(参考) 1人当たりの生産性 (連結)



(参考) ガバナンス改革の推移

	2013/6	2014/6	2016/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
取締役総数	7名	5名	7名	8名	11名	10名	9名	8名	9名
社外取締役 (社外割合)	1名 (14%)	1名 (20%)	2名 (28%)	3名 (37%)	6名 (54%)	(60%)	5名 (55%)	4名 (50%)	5名 (55%)
女性取締役				1名		2名		1名	3名
監査・監督 機能	監査役会				監査等 委員会				
株式報酬			2015/6 退職慰労金廃止 ストック・オプション (SO)	2017/6 業績連動株 式給付信託	SO廃止				
					RS導入				

(参考) 用語集

用語	解説
科学技術基本計画	科学技術基本法に基づき、政府が、総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画を策定するもの。第5期科学技術基本計画は、2021年度から2025年度までの5年間を対象とし、総額約30兆円が閣議決定されている。 第3期は25兆円、第4期は26兆円の計画でした。
科学技術研究費	政府が行っている「科学技術研究調査」によれば、科学技術に関する研究・開発のために支出された費用は、2022年度で20兆7,040億円（+4.9%）にのぼる。この費用には人件費、原材料費、その他研究開発のために支出された経常的費用と、研究開発用の固定資産を取得するために支出された費用が含まれる。国と地方公共団体の科学技術関係予算は9.4兆円（2022年度）。
科研費	文科省の競争的資金制度の一部として、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする。ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行われるもの。競争的資金制度には他に戦略的創造研究推進事業、研究成果展開事業、国家課題対応型研究開発推進事業等がある。 http://www.mext.go.jp/a_menu/02_itiran.htm

(参考) 用語集

用語	解説
ラボラトリー分野 (Laboratory)	主に大学や研究所（企業含む）に出入りしている販売店ルート。理化学分野の専門販売店、研究用試薬業者が中心。当社売上の約6割を占める。インダストリー分野と合わせてラボ・インダストリー部門を構成する。インダストリー分野と同時に総合カタログを2年に1回発刊。直近では2024年10月。
インダストリー分野 (Industry)	主に民間企業の工場に出入りする販売店ルート。当社の売上の約2割を占める。工作機械商、切削工具商、工業薬品業者、梱包資材業者などさまざまな業態の販売店がある。ラボラトリー分野と合わせてラボ・インダストリー部門を構成する。ラボラトリー分野と同時に総合カタログを2年に1回発刊。直近では2024年10月。
メディカル部門 (Medical) (メディカル・介護分野)	主に医療機関に出入りする販売店ルート。医療器商社、医薬品販売業者などが中心。当社売上の約2割を占める。 通称「 navis [*] （ナビス）」。医療用総合カタログとして「ナビス看護・医療用品総合カタログ」を2年に1回発刊。直近では2025年10月。

(参考) 用語集

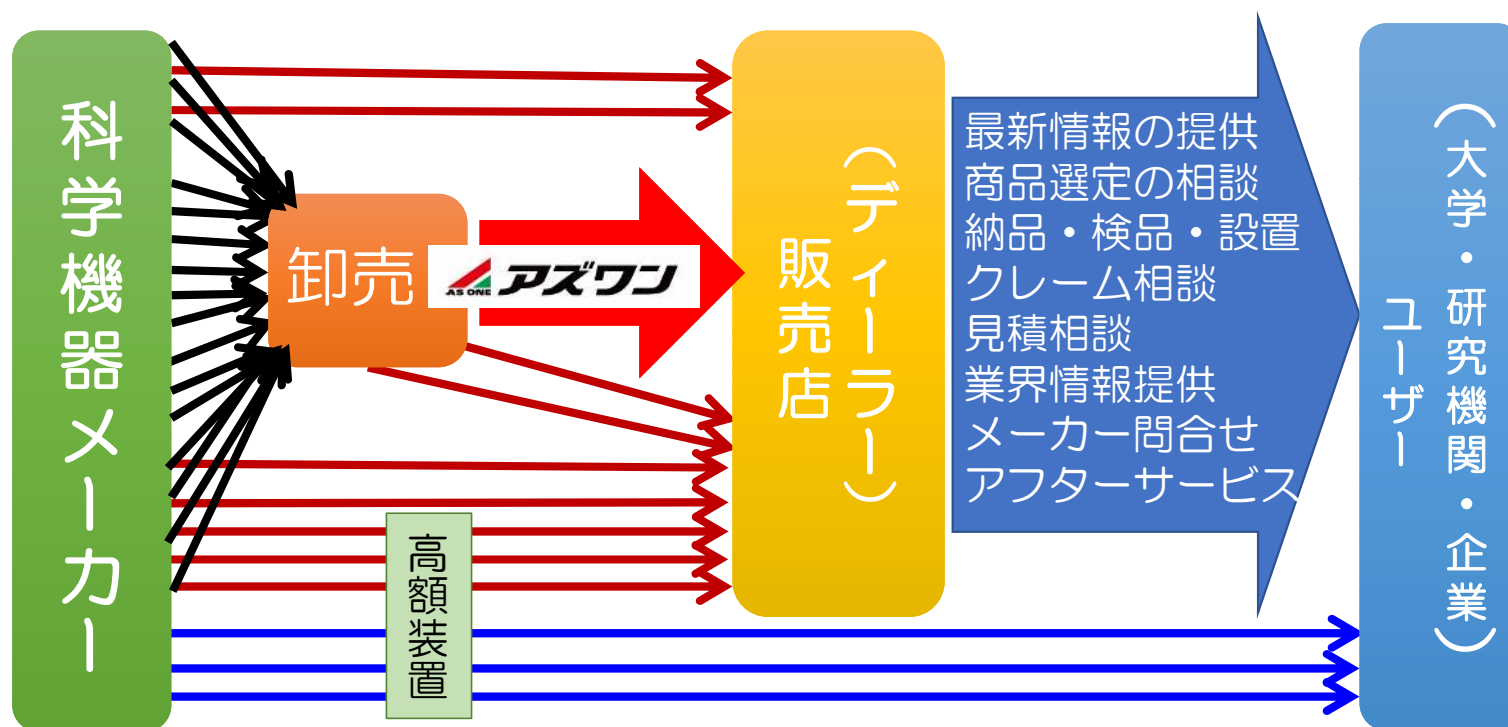
用語	解説
配達便と路線便	当社は、自社トラックを保有せず、出荷運送は外部運送業者に委託します。配達便とは、当社の専用トラックとして固定費で運用され、毎日同じルートで配達する傭車です。同じルートのため、折り畳みコンテナで配送し、廃棄される梱包材をセーブしながらエコ配達が可能です。路線便は、広域運送業者による混載配送であり、従量制料金となります。
総合カタログ	厚さ56mm、重さ3.6kgのアズワン主力カタログ。研究用総合機器カタログ及びサンクアスト産業用研究機器カタログの総称。おおむね2年ごとに更新・発刊しており、最近では2024年10月に116,200部を製作・発刊した。2年に1回の更新。
集中購買	全国各地の事業所、工場で、さまざまな業者から、その都度、バラバラな価格で購入しているような体制を、購入する物品のグループ別に購入先、価格を集約し合理化、効率化する購買方式。I T 技術の進歩に伴い、いわゆるeコマースを利用して導入される場合が多い。当社では業界随一の品揃えと利便性の「 ocean 」というシステムでユーザーの集中購買を支援。
	アズワンのシステムと品揃えを利用し、販売店の集中購買サイトとして、販売店が主体となってユーザーにサービス提供できる E C プラットフォーム。

(参考) 用語集

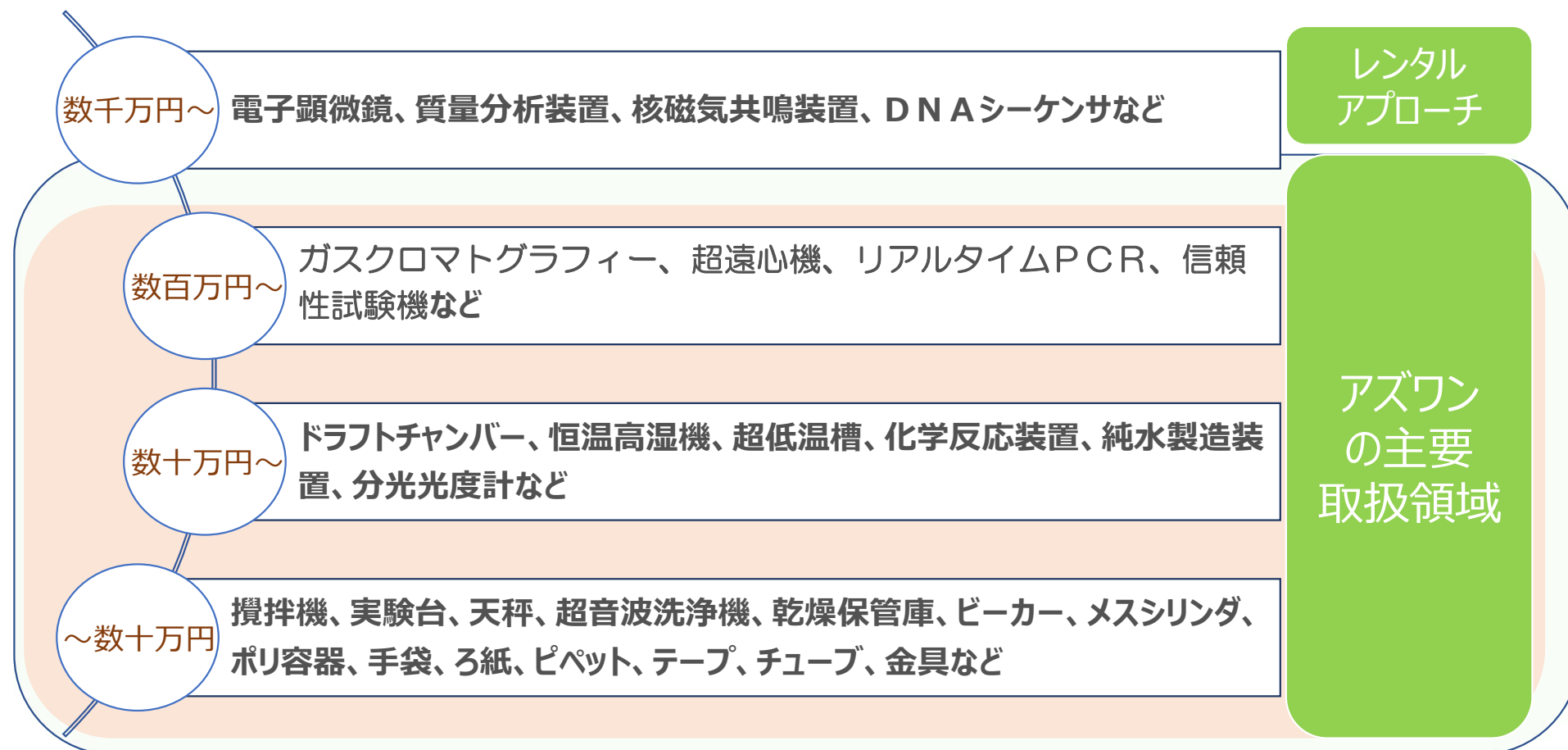
用語	解説
	Science & Health × Abundant × RE liable - Data Base 「科学・医療分野における、豊富で信頼のあるデータベース」 「業界のデータベース」としてユーザーが必要なあらゆる商品情報の保有を目指す。 「AXEL」や「ocean」や「Wave」の商品データベースでもある。
	「ASONE × Electronic Media」 アクセル検索システムを検索エンジンに据えた理化学機器販売サイト。販売店経由でIDを取得することで、一般ユーザーが1200万点以上の商品を閲覧・検索できるだけでなく、24時間いつでも販売店提示価格でWEB注文できる。注文はアズワンに直接入り、配送も直接されるが、請求は販売店経由となる。ユーザー、販売店、アズワンがWin-Win-WinのWEBShop。
 	商品検索システムAXELの及び販売店の集中購買サイトWaveの英語版。英語をベースに16言語への翻訳機能を備える。海外の販売店やユーザーが商品検索や見積もり依頼が可能。2025年3月現在掲載点数259万点。

(参考) 用語集

用語	解説
販売店 (ディーラー)	日々ユーザーに出入りし、アズワンだけでなく、様々なメーカーや卸からも調達しユーザーに販売する。ユーザーに対し様々な有形無形のサービスを提供する。アズワンの売上は98%が販売店に対するものになる。



(参考) カタログ・WEB主要対象品



(参考) カスタマー相談センター

- 自社オリジナル品のみならず、
卸としてたくさんのメーカー様（4,400社超）の
専門的な商品の選定などをお手伝いいたします。

その凄さはTBS「がっちりマン
デー!!」でも紹介されました。



カスタマー相談センター



多品種の専門商品でありながら
即時解決率※80%以上

※最初のお電話で解決する率

サービス内容

1. 商品の内容に関するお問い合わせ対応

- ☞ カタログ掲載商品の内容・仕様について
- ☞ 商品選定のご相談
- ☞ 商品の使用方法について
- ☞ その他、オプション製品や特注品、
カタログ掲載外商品の取り扱いについて

2. 商品の資料請求に関する対応

- ☞ 各種カタログ
- ☞ 単品パンフレット
- ☞ 製品図面 / 各種データ / 取扱説明書

(参考) ESG格付

年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) がE (環境) S (社会) G (ガバナンス) に配慮した投資を行うに際し、採用するESG指数のひとつであるMSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数に採用されております。2025 年5月現在MSCIによるESG格付は“AA”にランクされております。

MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数

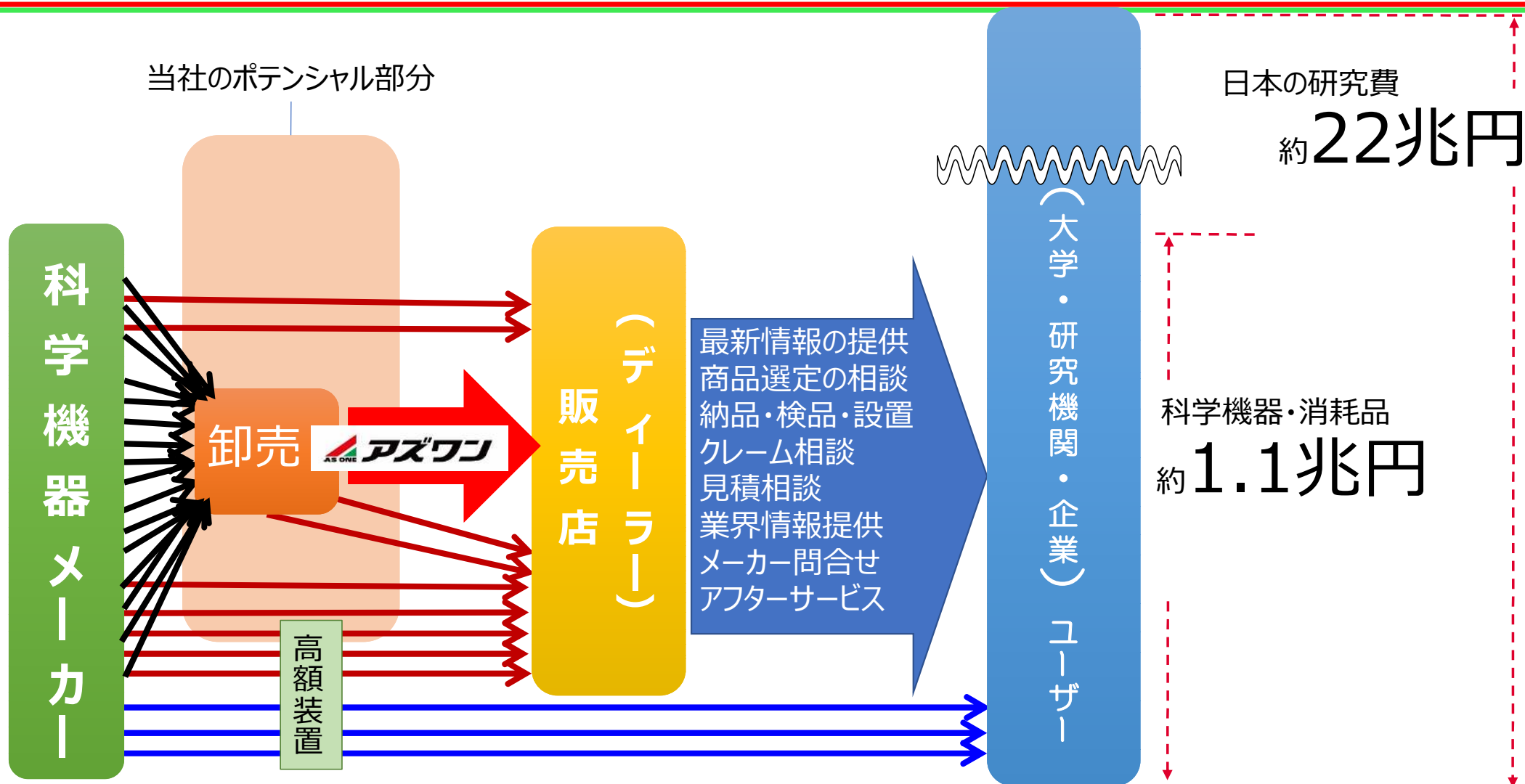
<https://www.msci.com/msci-japan-esg-select-leaders-index-jp>



NIKKEI
**Smart
Work**

再エネ100宣言
RE Action
<https://saiene.jp/>

(参考) 市場構造



(参考) 日本の研究費（人件費含む）

以下のような市場の推移の中でシェア拡大中

表 1-3 研究主体別研究費の推移

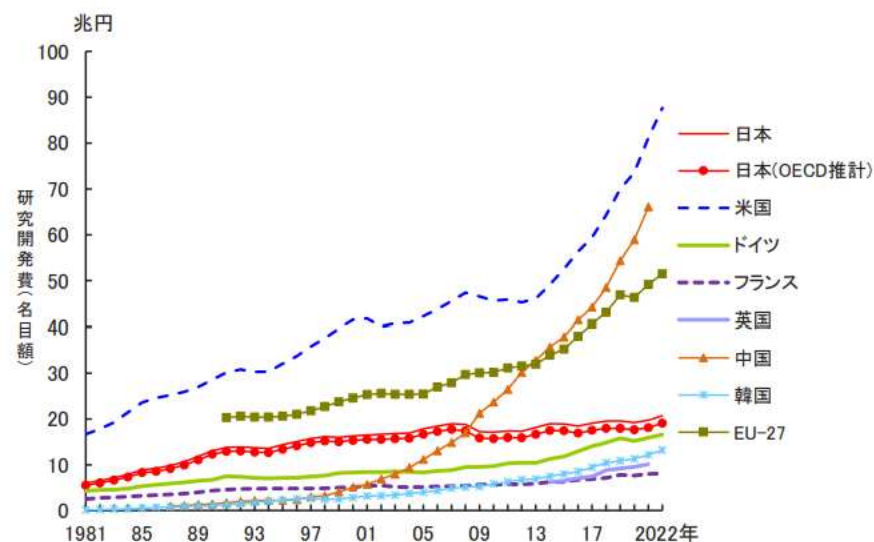
区 分		総 額	企 業	非営利団体・ 公的機関	大 学 等
研 究 費 (億円)	2014 年度	189 713	135 864	16 888	36 962
	2015	189 391	136 857	16 095	36 439
	2016	184 326	133 183	15 102	36 042
	2017	190 504	137 989	16 097	36 418
	2018	195 260	142 316	16 160	36 784
	2019	195 757	142 121	16 435	37 202
	2020	192 365	138 608	16 997	36 760
	2021	197 408	142 244	17 324	37 839
	2022	207 040	151 306	17 312	38 421
	2023	220 497	161 199	19 932	39 365
対前 年度 比 (%)	2014 年度	4.6	7.0	-3.1	-0.1
	2015	-0.2	0.7	-4.7	-1.4
	2016	-2.7	-2.7	-6.2	-1.1
	2017	3.4	3.6	6.6	1.0
	2018	2.5	3.1	0.4	1.0
	2019	0.3	-0.1	1.7	1.1
	2020	-1.7	-2.5	3.4	-1.2
	2021	2.6	2.6	1.9	2.9
	2022	4.9	6.4	-0.1	1.5
	2023	6.5	6.5	15.1	2.5
構 成 比 (%)	2014 年度	100.0	71.6	8.9	19.5
	2015	100.0	72.3	8.5	19.2
	2016	100.0	72.3	8.2	19.6
	2017	100.0	72.4	8.4	19.1
	2018	100.0	72.9	8.3	18.8
	2019	100.0	72.6	8.4	19.0
	2020	100.0	72.1	8.8	19.1
	2021	100.0	72.1	8.8	19.2
	2022	100.0	73.1	8.4	18.6
	2023	100.0	73.1	9.0	17.9

73.1% 9.0% 17.9%

【図表 1-1-1】 主要国における研究開発費総額の推移



(A) 名目額 (OECD 購買力平価換算)



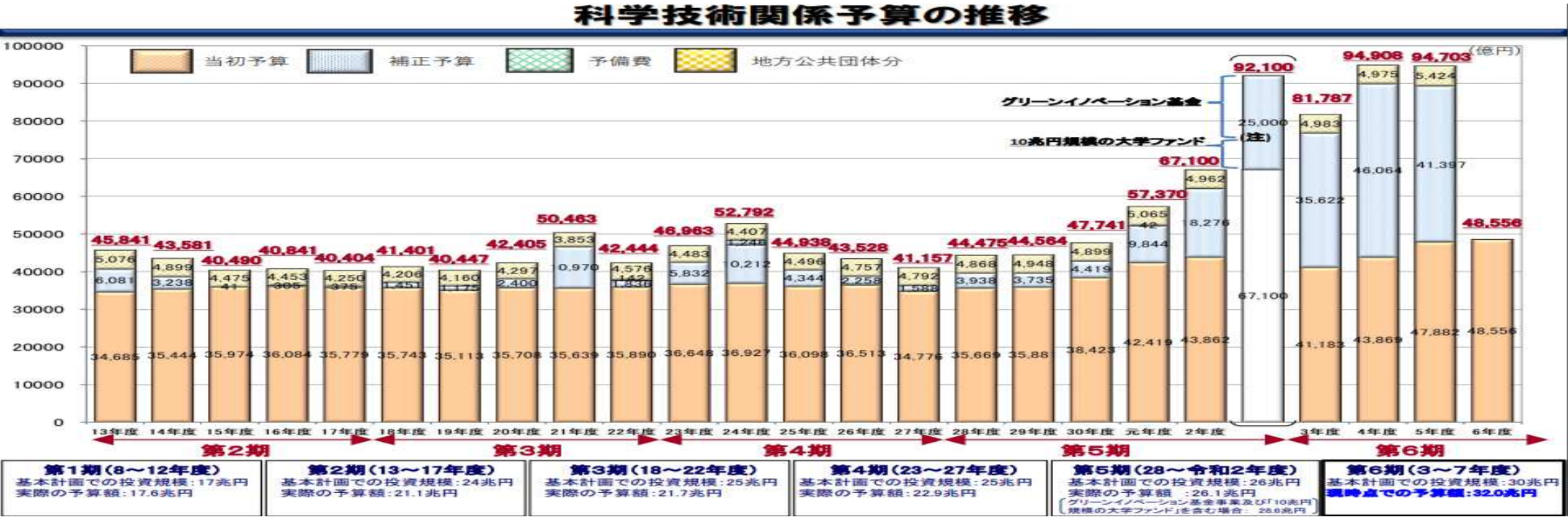
科学技術指標2024

<file:///C:/Users/muratsh1/Downloads/NISTEP-RM341-FullJ.pdf>

(総務省統計局2024年科学技術研究調査 結果の概要 https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/kekkgai/pdf/2024ke_gai.pdf)

(参考) 日本の科学技術国家予算①

内閣府: 科学技術関係予算令和6年度当初予算案令和5年度補正予算の概要についてより
<https://www8.cao.go.jp/cstp/budget/r6yosan.pdf>



5年で
18兆円 → 21兆円 → 22兆円 → 23兆円 → 26兆円 → 32兆円

2021~2025

(参考) 日本の科学技術国家予算②

科学技術 基本計画の概要

- 2021年3月内閣府公表
- 政府研究開発投資総額
5年で 30兆円
(前の5年実績 26兆円)
- 官民合算研究開発投資総額
5年で 120兆円
(前の5年実績 96兆円)

出典

<https://www8.cao.go.jp/cstp/siryo/haihui053/sanko1.pdf>



当資料に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータ改ざん等に関し、事由の如何を問わず一切の責任を負うものではありません。

当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関する決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。

当資料の著作権は、アズワン株式会社にあります。無断コピーはお断りいたします。

